PENTAX

PENTAX PHOTO Browser™ 3
PENTAX PHOTO Laboratory™ 3

（バージョン3.6）

使用説明書

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書は、本製品で作成した画像をWindowsパソコンまたはMacintoshで楽しむためのソフトウェア「PENTAX PHOTO Browser 3」「PENTAX PHOTO Laboratory 3」の説明書です。本製品および「PENTAX PHOTO Browser 3」「PENTAX PHOTO Laboratory 3」の機能を十分活用していただくために、ご使用になる前に別冊のカメラ使用説明書および本書をよくお読みください。
また、カメラ使用説明書および本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

商標について

PENTAXおよびペンタックス、smc PENTAXはHOYA株式会社の登録商標です。
PENTAX PHOTO Browser、PENTAX PHOTO Laboratory、PENTAX REMOTE Assistant はHOYA株式会社の商標です。
Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
SDHCロゴは商標です。
この製品はAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の許可のもと、DNG技術を取り入れています。
DNGロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

PictBridgeについて

PictBridgeは、プリンターとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

免責事項

- お客様が本ソフトウェアをご使用になることによって発生した直接的、間接的もしくは波及効果による損害、データ・プログラムその他無体財産に対する損害、使用利益および得られるべき利益の損失、および本ソフトウェアに起因する第三者との係争等に対し、いかなる場合においても当社は一切責任を負わないものとします。
- 本ソフトウェアの仕様は予告無く変更されることがあります。

● 本書で使用されている表記の意味は次のようになっています。

メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。

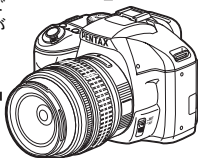
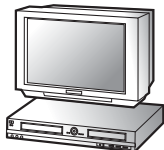
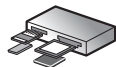
本文中のパソコンの画像表示は、パソコンの種類によって異なる場合があります。

目次

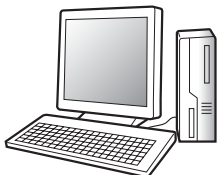
デジタル写真の世界を楽しもう

デジタルカメラで撮影した写真は、パソコンを活用して整理したり編集加工するなど、さまざまな方法でお楽しみいただけます。

ダイレクトプリント

カメラとPictBridge対応プリンターを直接USBケーブルで接続してプリントします。（*istDでは対応しません。）

インターネットで活用

パソコンに転送した画像は、メールソフトを使用してメールに添付して送ったり、ホームページの素材として利用することができます。

- メールへの添付方法などについては、ご使用のメールソフトの説明書をご覧ください。
- ホームページの素材としてご利用の場合は、ご使用のソフトの説明書をご覧ください。

PENTAX PHOTO Browser 3（p.18～p.69）
PENTAX PHOTO Laboratory 3（p.70～p.102）

- 画像の表示　• 画像の整理保存
- 画像の印刷　• 画像ファイル名の一括変更
- 画像情報の一括保存
- PENTAX仕様RAWファイルの展開処理※

画像加工は市販の画像処理ソフトをお使いください。

※ 弊社製デジタルカメラで撮影したDNGファイル、PENTAX PHOTO Browser 3で変換したDNGファイルの展開処理も行えます。

プリントする

パソコンに転送した画像は、プリンターで印刷することができます。
プリンターによっては、SDメモリーカードから直接印刷できるタイプもあります。

- 詳しくは、ご使用のプリンターの説明書をご覧ください。

メディアに保存

パソコンに転送した画像は、CD-Rなどに記録して保存できます。

付属ソフトウェアについて

K-m に付属のCD-ROM（S-SW84）には、次のソフトウェアが含まれています。

- PENTAX PHOTO Browser 3
- PENTAX PHOTO Laboratory 3

本書では、PENTAX PHOTO Browser 3、PENTAX PHOTO Laboratory 3について、Windows XP環境で使用するときの画面で説明しています。
Macintoshでお使いの場合、操作はほぼ同じですがキー操作などが若干異なります。違いについては「Macintosh版では～」と書かれた補足説明、またはオンラインヘルプをご覧ください。

付属のソフトウェアのご紹介

PENTAX PHOTO Browser 3
（9言語対応：英・仏・独・西・伊・露・中［繁体字／簡体字］・韓・日）
PENTAX PHOTO Browser 3は、デジタルカメラで撮影してパソコンに保存した画像を表示、印刷、管理するソフトウェアです。
対応ファイルは、拡張子が.bmp（BMP）、.jpg（JPEG）、.pef（PENTAXデジタルカメラ専用フォーマットで記録されたRAWファイル。以下PEF）、.pct（PICT）、.png（PNG）、.tif（TIFF）、.dng（DNG）の7種類です。

PENTAX PHOTO Browser 3では、次のことができます。

- 画像ファイルの名称変更、コピー、切り取り、貼り付け、回転、削除、ファイルタイプの変更、保存
- フォルダの新規作成、名称変更、コピー、切り取り、貼り付け、削除
- 撮影情報一覧の保存
- 画像の撮影情報の確認
- PEFファイルおよびDNGファイルの簡易表示
- 画像の印刷

また、PENTAX PHOTO Browser 3から、PENTAX PHOTO Laboratory 3を起動することができます。

PENTAX PHOTO Laboratory 3
（9言語対応：英・仏・独・西・伊・露・中［繁体字／簡体字］・韓・日）
PEFファイルおよびDNGファイルに対してデータ形式の変換、色調整、画像補正などの展開処理を行い、市販の画像閲覧・編集ソフトウェアで表示できる形で保存できます。またPEFファイルやDNGファイルを印刷することもできます。
PENTAX PHOTO Laboratory 3は、単独で起動することもできます。

PENTAX PHOTO Browser 3およびPENTAX PHOTO Laboratory 3で扱えるDNGファイルは、弊社製デジタルカメラで撮影されたものおよびPENTAX PHOTO Browser 3で変換されたもののみです。

DNG（Digital Negative）とは、Adobe Systems社が提唱する汎用の公開RAWファイルフォーマットのことです。

システム環境について

PENTAX PHOTO Browser 3およびPENTAX PHOTO Laboratory 3をインストールし、カメラからパソコンに画像を転送したり、転送した画像を展開処理したりするには、次のシステム環境が必要です。

Windowsのシステム環境

- OS　Windows XP（Home Edition、Professional、x64 Edition）SP2以降／Windows Vistaがプリインストールされたパソコン（USB 2.0ポートが標準で搭載されていること）
  ※Windows 2000でも、カメラとパソコンをUSB接続し、画像を転送することは可能です。ただし、PENTAX PHOTO Browser 3およびPENTAX PHOTO Laboratory 3を使用することはできません。
- CPU　Pentium 4以上（Pentium 4　2.0GHz以上を推奨）
- メモリ　1.0GB以上
- モニタ　1280×1024以上、24bitフルカラー（約1677万色）表示可能なもの
- ハードディスクの空容量　250MB以上（500MB以上を推奨）

カメラをパソコンに接続するときには、ACアダプター（別売）のご使用をお勧めします。画像の転送中に電池が消耗すると、画像データが壊れたり、SDメモリーカードが破損する恐れがあります。

Macintoshのシステム環境

- OS　Max OS X10.3以降がプリインストールされたMacintosh（USB 2.0ポートが標準で搭載されていること）
  ※Mac OS X 10.2でも、カメラとMacintoshをUSB接続し、画像を転送することは可能です。ただし、PENTAX PHOTO Browser 3およびPENTAX PHOTO Laboratory 3を使用することはできません。
- CPU　PowerPC G5以上（Dual CPU対応、Intel Coreプロセッサ対応、Universal Binary対応）
- メモリ　1.0GB以上
- モニタ　1280×1024以上、24bitフルカラー（約1677万色）表示可能なもの
- ハードディスクの空容量　250MB以上（500MB以上を推奨）

カメラをパソコンに接続するときには、ACアダプター（別売）のご使用をお勧めします。画像の転送中に電池が消耗すると、画像データが壊れたり、SDメモリーカードが破損する恐れがあります。

ソフトウェアをインストールする

PENTAX PHOTO Browser 3と、PENTAX PHOTO Laboratory 3をインストールします。
以前のバージョンのPENTAX PHOTO BrowserやPENTAX PHOTO Laboratoryがすでにインストールされているパソコンにインストールする場合は、そのまま上書きインストールしてください。
K-mで撮影したRAWファイルを扱うには、必ず添付CD-ROM（S-SW84）のPENTAX PHOTO Browser 3とPENTAX PHOTO Laboratory 3をインストールしてください。
ご使用のOSがWindows XP/Windows VistaまたはMac OS Xで複数アカウントを設定している場合は、administrator（管理者）権限でログオンしてからインストールを始めてください。

Windowsをご使用の場合

1 パソコンの電源をオンにする

他に起動しているソフトがあれば、終了させてください。

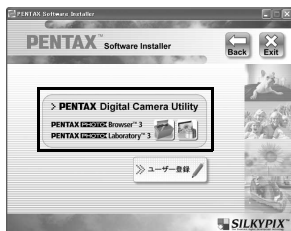
2 付属のCD-ROM（S-SW84）をパソコンのCD-ROMドライブにセットする

画面上に「PENTAX Software Installer」の画面が表示されます。

- **「PENTAX Software Installer」の画面が表示されない場合**
  以下の手順で「PENTAX Software Installer」の画面を表示させます。
  1) スタートメニューから「マイコンピュータ」をクリックする
  2)「CD-ROMドライブ（S-SW84)」のアイコンをダブルクリックする
  3)「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックする

3 「日本語」をクリックする

インストールするソフトウェアの選択画面が表示されます。

4 「PENTAX Digital Camera Utility」をクリックする

5 言語選択ウィンドウで日本語「Japanese（日本語）」を選択し、［OK］ボタンをクリックする

その他の言語でインストールする場合は、インストールする言語を選択してください。

ご使用のパソコン環境によっては、言語の選択は自動的に行われる場合があります。その場合は手順**6**のインストーラーが起動しますので、そのままインストールを進めてください。

6 日本語インストーラーが起動したら、［次へ］ボタンをクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

ユーザー登録する

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

インストール手順**4**（p.8）で表示されるソフトウェアの選択画面で、「ユーザー登録」をクリックします。
図のような地図画面が表示されたら、「Japan」をクリックしてください。パソコンがインターネットに接続できる環境にあれば、弊社ホームページのユーザー登録画面が表示されます。画面の指示に従って、登録の作業を行ってください。

ユーザー登録画面が表示されない場合は、下記アドレスから直接アクセスしてください。
https://service.pentax.jp/pentax/user

Macintoshをご使用の場合

1 Macintoshの電源をオンにする

他に起動しているソフトがあれば、インストールの前に終了させてください。

2 付属のCD-ROM（S-SW84）をMacintoshのCD-ROMドライブにセットする

3 CD-ROM（S-SW84）のアイコンをダブルクリックする

CD-ROMの内容が表示されます。

4 「PENTAX Installer」のアイコンをダブルクリックする

画面上に「PENTAX Software Installer」の画面が表示されます。

5 「日本語」をクリックする

インストールするソフトウェアの選択画面が表示されます。

6 「PENTAX Digital Camera Utility」をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

ユーザー登録する

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

インストール手順**6**で表示されるソフトウェアの選択画面で、「ユーザー登録」をクリックします。続いて表示される画面で、登録の作業を行ってください。（p.9）

画像をパソコンに保存する

デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに保存します。
カメラとパソコンをケーブルで接続して保存する方法とそれ以外の方法について、説明します。

カメラとパソコンを接続して画像を保存する（Windowsの場合）

カメラの「USB接続」を「PC」に設定する

K-mの場合を例に説明します。

1 カメラのMENUボタンを押す

「撮影1」または「再生1」メニューが表示されます。

2 十字キー（▶）を押して「詳細設定2」メニューを表示する

3 十字キー（▲▼）を押して「USB接続」を選ぶ

4 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

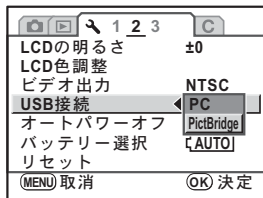
5 十字キー（▲▼）で「PC」を選ぶ

「USB接続」の設定は、接続する機器によって変更します。

パソコンと接続する場合

「PC」＝ USB2.0（ハイスピード対応）

プリンターで印刷する場合

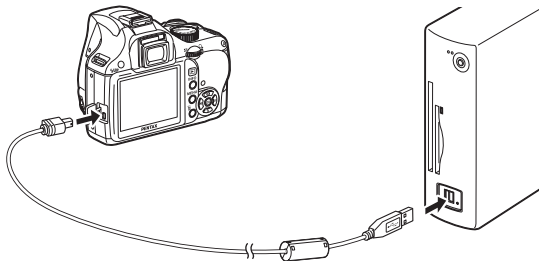
「PictBridge」（対応プリンターのみ可能）

6 カメラのOKボタンを押す

「USB接続」を「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続しないでください。

カメラとパソコンを接続する

1 パソコンの電源をオンにする

2 カメラの電源をオフにして、USBケーブルでパソコンとカメラを接続する

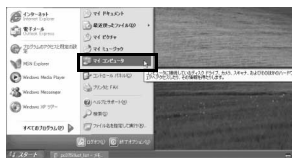
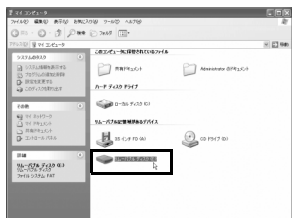
カメラにSDメモリーカードが入っていることを確認してください。

3 カメラの電源をオンにする

カメラは「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」として認識されます。

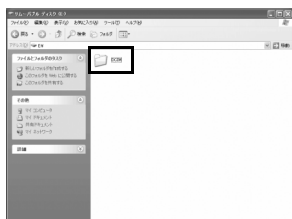
- カメラの電源をオンにしたとき、「リムーバブルディスク」ダイアログが表示された場合は、ダイアログ内の「フォルダを開いてファイルを表示するエクスプローラ使用」を選択してOKボタンをクリックします。p.13の手順**3**の画面が表示されます。
- Windows XPの場合、SDメモリーカードにボリュームラベルがついていると、「リムーバブルディスク」と表示されずにボリュームラベル名に記載されている内容が表示されます。フォーマットされていない新しいSDメモリーカードは、メーカー名や型番が表示される場合があります。

カメラの画像をパソコンに保存する

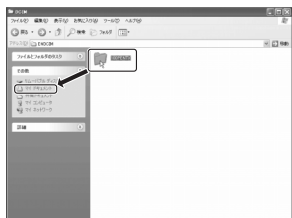
ここでは、Windows XPでの手順を説明します。

1 **スタートメニューの「マイコンピュータ」をクリックする**

2 **[リムーバブルディスク] アイコンをダブルクリックする**

3 **[DCIM] アイコンをダブルクリックする**

「xxxPENTX」(xxxは、3桁の数字) フォルダが表示されます。

このフォルダの中にカメラの画像ファイルがあります。

フォルダ名の付け方を「日付」にした場合は、「xxx_MMDD（MMDDは画像の撮影月日）」フォルダが表示されます。（カメラ使用説明書 p.224）

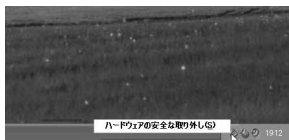
4 **パソコンのデスクトップや「マイドキュメント」フォルダなど任意のフォルダに、「xxxPENTX」または「xxx_MMDD」フォルダをドラッグ＆ドロップする**

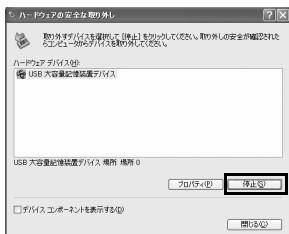
カメラの画像がフォルダごとパソコンに保存されます。

PENTAX PHOTO Browser 3の「簡単画像取り込み」（p.30）でも保存することができます。

カメラをパソコンから取り外す

ここでは、Windows XPでの手順を説明します。

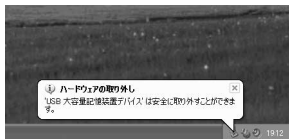
1　タスクバーの（ホットプラグアイコン）をダブルクリックする

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。

2　「USB 大容量記憶装置デバイス」が選択されていることを確認して［停止］ボタンをクリックする

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

3　「USB 大容量記憶装置デバイス」を選択して［OK］ボタンをクリックする

取り外し許可のメッセージが表示されます。

4　［閉じる］ボタンをクリックする

5　カメラの電源をオフにして、USBケーブルをパソコンとカメラから取り外す

アプリケーション等でリムーバブルディスク内のファイルを使用中の場合、USB大容量記憶装置デバイスは停止できません。

カメラとMacintoshを接続して画像を保存する（Macintoshの場合）

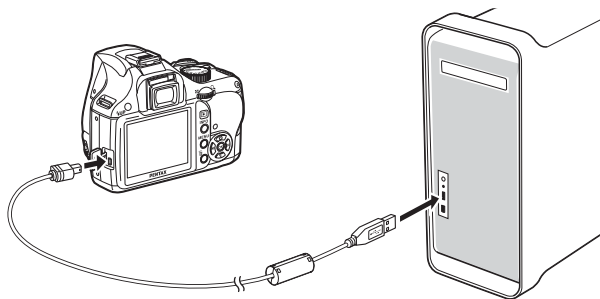
カメラの「USB接続」を「PC」に設定する

設定方法は、p.11を参照してください。

カメラとMacintoshを接続する

1 Macintoshの電源をオンにする

2 カメラの電源をオフにして、USBケーブルでMacintoshとカメラを接続する

カメラにSDメモリーカードが入っていることを確認してください。

3 カメラの電源をオンにする

カメラはデスクトップ上の「NO_NAME」（SDメモリーカードにボリュームラベルが記載されている場合はその名称）として認識されます。

フォルダ名は変更できます。

iPhotoの画面が表示されたときは、終了してください。

カメラの画像をMacintoshに保存する

ここでは、Mac OS X（Ver. 10.3）での手順を説明します。

1 デスクトップ上の［NO NAME］アイコンをダブルクリックする

2 ［DCIM］アイコンをダブルクリックする

「xxxPENTX」（xxxは、3桁の数字）フォルダが表示されます。

このフォルダの中にカメラの画像ファイルがあります。

メモ　フォルダ名の付け方を「日付」にした場合は、「xxx_MMDD（MMDDは画像の撮影月日）」フォルダが表示されます。（カメラ使用説明書 p.224）

3 デスクトップ上の［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックする

「Macintosh HD」フォルダが開きます。

4 「Macintosh HD」など任意のボリュームまたはフォルダに、「xxxPENTX」または「xxx_MMDD」フォルダをドラッグ＆ドロップする

カメラの画像がフォルダごと任意のボリュームまたはフォルダに保存されます。

PENTAX PHOTO Browser 3の「簡単画像取り込み」（p.30）でも保存することができます。

カメラをMacintoshから取り外す

1 デスクトップ上の「NO_NAME」（SDメモリーカードにボリュームラベル名が記載されている場合はその名称）をごみ箱にドラッグする

2 カメラの電源をオフにして、USBケーブルをMacintoshとカメラから取り外す

その他の方法で画像を保存する

画像が保存されたSDメモリーカードはカードリーダーやカードアダプターを使用すると、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続することなく、直接パソコンに画像ファイルを転送することができます。（p.30）
詳しくは、お使いのパソコンやカードリーダーの使用説明書をご覧ください。

PENTAX PHOTO Browser 3

PENTAX PHOTO Browser 3の起動方法と終了方法、PENTAX PHOTO Browserウィンドウの見方とその機能について説明します。

PENTAX PHOTO Browser 3を起動する

Windowsの場合

1 デスクトップ画面でスタートメニューを選択する

2 「すべてのプログラム」から「PENTAX Digital Camera Utility」の中の「PENTAX PHOTO Browser」を選択する

PENTAX PHOTO Browser 3が起動し、PENTAX PHOTO Browserウィンドウが表示されます。

● PENTAX PHOTO Browser 3を終了するには
PENTAX PHOTO Browserウィンドウの「ファイル」メニューから「終了」を選択します。

Macintoshの場合

1 ハードディスク上の「アプリケーション」の中の「PENTAX Digital Camera Utility」フォルダをダブルクリックする

2 「PENTAX PHOTO Browser」のプログラムアイコンをダブルクリックする

PENTAX PHOTO Browser 3が起動し、PENTAX PHOTO Browserウィンドウが表示されます。

● PENTAX PHOTO Browser 3を終了するには
デスクトップ上部のメニューバーで、「PENTAX PHOTO Browser」メニューの「PENTAX PHOTO Browserの終了」を選択します。

PENTAX PHOTO Browserウィンドウについて

PENTAX PHOTO Browserウィンドウの構成、名称、機能について説明します。

- **メニューバー（p.23）**
- **ツールバー（p.27）**
- **アドレスバー**

現在表示されているフォルダのアドレスが表示されます。

- **フォルダツリーペイン**

パソコンの内部のデータがフォルダツリー形式で表示されます。ここで画像ファイルが保存されているフォルダを選択します。
また、フォルダの新規作成やフォルダの削除、フォルダの移動／コピーなどの操作を行います。

● サムネイルペイン

フォルダツリーペインで選択したフォルダ内のファイルが表示されます。ファイルの表示方法は5種類から選択することができます。サムネイルペインで画像ファイルを選択すると、プレビューペインに画像が、撮影情報ペインに撮影情報が表示されます。

● チェック画像ペイン

サムネイルペインでチェックマークを付けた画像をまとめて表示します。チェック画像ペインで右クリックすると、サムネイル表示と詳細表示を切り替えることができます。チェック画像ペインで画像ファイルを選択すると、プレビューペインに画像が、撮影情報ペインに撮影情報が表示されます。

● プレビューペイン

サムネイルペインで選択した画像が表示されます。

● 撮影情報ペイン

サムネイルペインで選択された画像の撮影情報が表示されます。
ペイン上部のセル幅を示す線にカーソルを合わせてドラッグすると、セル幅を変更できます。（Macintosh版では任意の位置でドラッグしてセル幅を変更できます。）
表示される項目は以下のとおりです（表示例は K-m で撮影した場合です）。

情報	概要	表示例
レンズ名称	レンズの種類を表示	smc PENTAX-FA 50mmF1.4
撮影時焦点距離	撮影時の焦点距離（mm）	50mm
シャッタースピード	撮影時のシャッタースピード（秒）	1/250sec
絞り	撮影時の絞り値	F8.0
撮影モード	撮影時の撮影モード	プログラム
測光モード	撮影時の測光モード	分割測光
ホワイトバランス	ホワイトバランスモード	オート
色温度	色温度（単位：ケルビン）*1	-----
微調整A–B	Amber（黄）– Blue（青）の微調整 *1	-----
微調整M–G	Magenta（赤）– Green（緑）の微調整 *1	-----
感度	撮影時のISO感度	200
ダイナミックレンジ拡大	ダイナミックレンジ拡大の設定	OFF
高感度NR	高感度NRの設定	強
記録サイズ	記録画素数	3872×2592
画質	記録画質	ファイン

*1：撮影時に設定した内容またはPENTAX PHOTO Laboratory 3での処理内容が表示されます。

情報	概要	表示例
露出補正	露出補正	0.0
シャドー補正	シャドー部分の階調補正	ON
AFモード	撮影時のAFモード	シングル
AFエリアモード	撮影時のAFエリアモード	オート
色空間	色空間モード	sRGB
画像仕上	画像の仕上げ設定	鮮やか
彩度	彩度設定	0
色相	色相の設定	0
シャープネス	シャープネス設定	0
ファインシャープネス	ファインシャープネスの設定	OFF
コントラスト	コントラスト設定	0
フィルタ効果	フィルタ効果の設定	-----
調色	調色の設定	-----
ドライブモード	撮影時のドライブモード設定	シングル
ストロボモード	撮影時のストロボモード設定	発光禁止
ブラケット	撮影時の露出ブラケット設定	OFF
拡張ブラケット	撮影時の拡張ブラケットの設定*2	-----
多重露出	撮影時の多重露出設定	OFF
手ぶれ補正	手ぶれ補正設定	ON
ソフトウェアバージョン	最後に画像を保存したソフトウェアのバージョン *3	K-m Ver 1.00
撮影日時	撮影した日時	2008/07/07 10:00:00
カメラ名称	カメラの名前	PENTAX K-m

*2：撮影時に設定した項目名（「彩度」など）のあとに変動幅が数値で示されます。
*3：撮影したままの画像では、カメラのファームウェアの情報が表示されます。

● ステータスバー

PENTAX PHOTO Browser 3の状況が表示されます。
表示されるのは、次の情報です。

- 選択しているフォルダのオブジェクト数、合計サイズ（下位フォルダを含まない）、または選択されたオブジェクトの数と合計サイズ
- 選択しているドライブの空き領域
- サムネイル読み込み処理中の進捗状況をバーで表示
- ローカルディスク／リムーバブルディスク／ネットワークの区別

ペインとバーの表示／非表示

ペインとバーの表示／非表示を切り替えるには、「表示」メニューで操作を行います。（p.24）現在開いているものは、それぞれの項目の前の四角にチェックマーク☑が表示されています。それぞれの項目を選択すると、表示／非表示が切り替わります。
また、各ペインの右上にある×ボタンをクリックすると、開いているペインを閉じることができます。

ツールバーとアドレスバーの取り外しと移動

ツールバーとアドレスバーは、ブラウズ画面から取り外したり、位置を移動したりすることができます。

● ツールバーとアドレスバーの取り外し

バーをブラウズ画面から取り外すには、バーの左端でマウスの左ボタンをダブルクリックします。または、マウスの左ボタンでバーの左端を押したままにして、サムネイルペインまたはフォルダツリーペインの上までドラッグします。
ブラウズ画面からバーが取り外されます。

● ツールバーとアドレスバーをブラウズ画面に取り付ける

取り外したバーを元の位置に戻すには、バーの上でダブルクリックします。または、バーをマウスの左ボタンで押したまま、戻したい場所にドラッグします。
ブラウズ画面にバーが取り付けられます。

● ツールバーとアドレスバーの移動

バーの位置を移動するには、マウスの左ボタンでバーの左端を押したままにして、移動したい場所までドラッグします。
バーの位置が移動します。

アドレスバーを移動できるのは、メニューバーの下、ツールバーの横、またはサムネイルペインの上部または下部のみになります。

「表示」メニューの「デフォルトの配置」を選択するか、ツールバーの（デフォルトの配置）をクリックすると、初期設定の配置に戻ります。

ペインの取り外しと移動

フォルダツリーペイン、プレビューペイン、撮影情報ペイン、チェック画像ペインは、ブラウズ画面から取り外すことができます。

● ペインの取り外し

ペインをブラウザ画面から取り外すには、ペインの上端部の上でダブルクリックします。または、マウスの左ボタンでペインの上端部を押したままにして、ペインが選択された状態で、サムネイルペインの上までドラッグします。
ブラウズ画面からペインが取り外されます。

● ペインをブラウズ画面に取り付ける

取り外したペインを元の位置に戻すには、ペインのタイトルバーをダブルクリックします。または、ペインのタイトルバーをマウスの左ボタンで押したまま、戻したい場所にドラッグします。
ブラウズ画面にペインが取り付けられます。

● ペインの移動

ペインの位置を移動するには、ペインを選択して、移動したい場所までドラッグします。
ペインの位置が移動します。

「表示」メニューの「デフォルトの配置」を選択するか、ツールバーの（デフォルトの配置）をクリックすると、初期設定の配置に戻ります。

メニューバー

PENTAX PHOTO Browser 3の機能の実行や各種設定を行います。
Macintosh版ではメニューはデスクトップ上部に表示されます。

「ファイル」メニュー	
フォルダの新規作成	フォルダツリーペインで指定した場所に新しいフォルダを作成します。（p.51）
開く	選択したフォルダを開きます。またはサムネイルペインで選択した画像を新規の主画像表示ウィンドウに表示します。
すべての画像を閉じる	主画像表示ウィンドウで開いているすべての画像を閉じます。
名前の変更	選択したファイルまたはフォルダの名前を変更します。（p.49）

「ファイル」メニュー	
名前の一括変更	選択した複数のファイルの名称を一括して変更します。(p.50)
ページ設定	印刷するときの余白やヘッダ／フッタの設定、印刷部数の設定などを行います。(p.61)
印刷	選択した画像ファイルを印刷します。(p.57)
プロパティ	選択したファイルまたはフォルダのプロパティを表示します。(p.53)
終了	PENTAX PHOTO Browser 3を終了します。 (Macintosh版では、「PENTAX PHOTO Browser」メニューの「PENTAX PHOTO Browserの終了」を選択します。)

「編集」メニュー	
元に戻す	直前のファイル操作を取り消します。
切り取り	選択しているファイルまたはフォルダを別の場所に移動する準備をします。(p.47)
コピー	選択しているファイルまたはフォルダをコピーします。(p.47)
貼り付け	「切り取り」または「コピー」したファイルまたはフォルダを、選択したフォルダにコピーします。(p.47)
削除	選択したファイルまたはフォルダを削除します。フォルダを選択した場合、フォルダ内のファイルごと削除されますので注意してください。(p.49)
別のフォルダに移動	選択しているファイルを別のフォルダに移動します。
別のフォルダにコピー	選択しているファイルを別のフォルダにコピーします。
選択画像をチェック	選択したファイルをチェックします。チェックしたファイルは、チェック画像ペインに表示されます。(p.33)
選択画像をチェックアウト	選択したファイルのチェックを外します。
すべてをチェックアウト	すべての画像のチェックを外します。
すべてを選択	現在開いているフォルダ内のすべてのファイルを選択状態にします。
選択範囲の反転	現在開いているフォルダ内で選択されているファイルを非選択に、選択されていないファイルを選択状態にします。

「表示」メニュー	
ツールバー	ツールバーを表示／非表示にします。
フォルダツリー	フォルダツリーペインを表示／非表示にします。

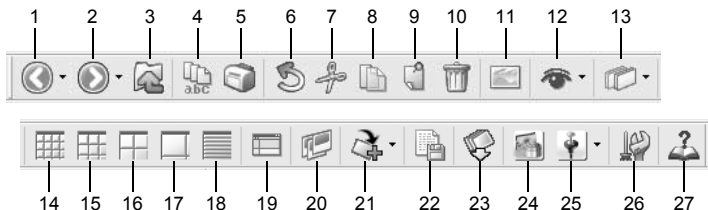
「表示」メニュー	
プレビュー	プレビューペインを表示／非表示にします。
アドレスバー	アドレスバーを表示／非表示にします。
ステータスバー	ステータスバーを表示／非表示にします。
撮影情報	撮影情報ペインを表示／非表示にします。
チェック画像	チェック画像ペインを表示／非表示にします。
デフォルトの配置	各ペインを初期設定の配置に戻します。
フィルタ	サムネイルペインに表示するファイルの種類を選択します。選択できるのは、次の4種類です。 PENTAX画像：ペンタックスのカメラで撮影した画像 その他画像　：ペンタックスのカメラで撮影した以外の画像（JPEG、TIFF、BMP、PNG、PICT） フォルダ　　：フォルダ その他　　　：PENTAX PHOTO Browser 3で対応していないファイル
並べ替え	サムネイルペインに表示するファイルやフォルダの表示順と、昇順か降順かを選択します。 表示順として、ファイル名、ファイルサイズ、ファイル日時、ファイル種別、撮影日時、画像サイズ、カメラ名、レンズ名、チェックグループ、保護が選択できます。
サムネイルキャプション	サムネイルペインに表示するファイルのキャプションを選択します。初期設定では、ファイル名、ファイル日付、ファイル時刻がすべて表示されます。
サムネイル（最小）	サムネイルペインのサムネイルを最小サイズで表示します。
サムネイル（小）	サムネイルペインのサムネイルを小サイズで表示します。
サムネイル（中）	サムネイルペインのサムネイルを中サイズで表示します。
サムネイル（大）	サムネイルペインのサムネイルを大サイズで表示します。
詳細	サムネイルペインを画像無しの詳細情報表示にします。
詳細表示項目設定	サムネイルペインの表示を「詳細」にした場合の表示項目を選択します。
移動	「戻る」で直前に開いていたフォルダへ、「進む」で「戻る」で戻る前に開いたフォルダへ、「上へ」で上位のフォルダに移動します。
スライドショウ	選択あるいはチェックされている画像を順番に表示します。（p.54） 画像が1枚だけ選択されている場合や、画像が1枚も選択されていない場合（サムネイルペインの背景をクリックした状態）は、カレントフォルダの全画像を順番に表示します。

「ツール」メニュー	
撮影情報一覧保存	チェックボックスを使って複数のフォルダの画像情報を一括してCSV形式でファイルに保存できます。何もチェック、または選択しなければカレントフォルダの画像情報をすべて保存します。(p.52)
画像回転	選択している画像を左90度または右90度に回転します。(p.34)
JPEG抽出	選択したPEFファイルや、K10D／K20D／K200D／K-mで撮影したDNGファイルから閲覧用JPEGデータを抽出し、別ファイルとして保存します。
DNG変換	選択したPEFファイルをDNG RAWファイルに変換します。
簡単画像取り込み	パソコンに接続されたカメラやSDメモリーカード内にDCFで記録された画像を自動検索し、パソコンにコピーします。(p.30)
PENTAX PHOTO Laboratory	PENTAX PHOTO Laboratory 3を起動します。対象となる画像ファイルはPENTAX PHOTO Browser 3から指定できます。(p.79)
PENTAX REMOTE Assistant*1	PENTAX REMOTE Assistantを起動します。 PENTAX REMOTE AssistantがPENTAX PHOTO Browser 3と同じフォルダにインストールされている場合のみ使用できます。
オプション	PENTAX PHOTO Browser 3の各種設定を行います。(p.64)

「ヘルプ」メニュー	
目次	PENTAX PHOTO Browser 3ヘルプの目次を表示します。
キーワード	PENTAX PHOTO Browser 3 ヘルプのキーワード検索を表示します。(Macintosh版ではこのコマンドはありません。)
ポップアップヒント	クリックすると、ポップアップヒントモードに入り、続いてクリックしたアイコンやコマンドのポップアップヒントが表示されます。
バージョン情報	PENTAX PHOTO Browser 3のバージョン情報を表示します。(Macintosh版では「PENTAX PHOTO Browser」メニューの「PENTAX PHOTO Browserについて」を選択します。)

*1：PENTAX REMOTE Assistant 3は、K20Dに添付のCD-ROM（S-SW75）に収録されています。K-mでは、PENTAX REMOTE Assistantは使用できません。

ツールバー

頻繁に使用する機能が、ツールバーの各ボタンとして用意されています。ツールバーを使うと簡単に実行することができます。
ブラウズ画面サイズの変更により、ツールバーの一部が隠れた場合は、ツールバーの右端に表示された下向き三角形をクリックすることで、表示されていないツールを選択することができます。

番号	アイコン（ボタン）	内容
1	[戻る]	直前に開いていたフォルダを開きます。 [戻る] アイコンの右横にある下向き三角形をクリックすると、フォルダにアクセスした履歴がリスト表示されます。（Macintosh版では、ボタンを長押しすると履歴を表示できます。）
2	[進む]	[戻る] で戻る前に開いていたフォルダを開きます。 [進む] アイコンの右横にある下向き三角形をクリックすると、フォルダにアクセスした履歴がリスト表示されます。（Macintosh版では、ボタンを長押しすると履歴を表示できます。）
3	[上へ]	上位のフォルダに移動します。
4	[名前の一括変更]	選択した複数のファイルの名称を一括して変更します。（p.50）
5	[印刷]	選択した画像ファイルを印刷します。（p.57）
6	[元に戻す]	直前のファイル操作を取り消します。
7	[切り取り]	選択しているファイルまたはフォルダを別の場所に移動する準備をします。（p.47）

番号	アイコン（ボタン）	内容
8	［コピー］	選択しているファイルまたはフォルダをコピーします。（p.47）
9	［貼り付け］	［切り取り］または［コピー］したファイルまたはフォルダを、選択したフォルダにコピーします。（p.47）
10	［削除］	選択したファイルまたはフォルダを削除します。（p.49）
11	［画像の表示］	選択した画像ファイルを主画像表示ウィンドウで表示します。（p.31）
12	［フィルタ］	▼をクリックしてサムネイルペインに表示するファイルの種類を選択します。選択できるのは、次の4種類です。 PENTAX画像：ペンタックスのカメラで撮影した画像 その他画像：ペンタックスのカメラで撮影した以外の画像（JPEG、TIFF、BMP、PNG、PICT） フォルダ：フォルダ その他：PENTAX PHOTO Browser 3で対応していないファイル
13	［並べ替え］	▼をクリックして表示されるプルダウンメニューから並べ替えのキーとなる項目と昇順降順を選びます。選んだ順に、サムネイルを並べ替えます。
14	［サムネイル（最小）］	サムネイルペインのサムネイルを最小サイズで表示します。（p.31）
15	［サムネイル（小）］	サムネイルペインのサムネイルを小サイズで表示します。（p.31）
16	［サムネイル（中）］	サムネイルペインのサムネイルを中サイズで表示します。（p.31）
17	［サムネイル（大）］	サムネイルペインのサムネイルを大サイズで表示します。（p.31）

番号	アイコン（ボタン）	内容
18	［詳細］	サムネイルペインの表示を画像無しの詳細情報表示にします。
19	［デフォルトの配置］	PENTAX PHOTO Browser 3の画面構成を初期設定に戻します。
20	［スライドショウ］	選択あるいはチェックされている画像を順番に表示します。（p.54）
21	［画像回転］	選択している画像を左90度または右90度に回転します。（p.34）
22	［撮影情報一覧保存］	指定した画像ファイルの付加情報を、一括してCSV形式でファイルに保存します（付加情報を保存できるのは、PENTAX PHOTO Browser 3で対応している画像ファイルのみです）。（p.52）
23	［簡単画像取り込み］	パソコンに接続されたカメラやSDメモリーカード内にDCFで記録された画像を自動検索し、パソコンにコピーします。（p.30）
24	［PENTAX PHOTO Laboratory］	PENTAX PHOTO Laboratory 3を起動します。対象となる画像ファイルはPENTAX PHOTO Browser 3から指定できます。（p.70）
25	［PENTAX REMOTE Assistant］ （*istD／K10D／K20Dのみ対応）	PENTAX REMOTE Assistantを起動します。 PENTAX REMOTE Assistant（バージョン1）とPENTAX REMOTE Assistant 3が両方インストールされている場合は、ドロップダウンリストからいずれかを選択して起動できます。また、いずれかを選択したあとは、このアイコンをクリックすると、選択されたほうのバージョンのPENTAX REMOTE Assistantが起動するようになります。 PENTAX REMOTE AssistantがPENTAX PHOTO Browser 3と同じフォルダにインストールされている場合のみ使用できます。
26	［オプション］	PENTAX PHOTO Browser 3の各種設定を行います。（p.64）
27	［ヘルプ（目次）］	PENTAX PHOTO Browser 3ヘルプの目次を表示します。

画像を取り込む

パソコンに接続されたカメラやSDメモリーカード内にDCFで記録された画像を自動検索し、パソコンに取り込むことができます。

画像ファイルを取り込む

1 **パソコンにデジタルカメラやSDメモリーカードリーダーなどのDCF対応リムーバブルディスクが接続されていることを確認し、「ツール」メニューから「簡単画像取り込み」を選択するまたは、ツールバーから[簡単画像取り込み]ボタンをクリックする**

画像ファイルが保存されたデジタルカメラやDCF対応リムーバブルディスクが認識されます。

2 **画像を取り込みたいドライブを指定して、[次へ]をクリックする**

メモ: パソコンにデジタルカメラやDCF対応リムーバブルディスクが接続されていない場合や、接続されていても画像ファイルが保存されていない場合は、「DCFメディアは検出されませんでした。」というメッセージが表示されます。

3 **取り込みたい画像ファイルが保存されたフォルダを選択し、[次へ]をクリックする。**

「選択したものを転送」を選択したのち、リストからフォルダを選択します。
選択したドライブに保存されたすべての画像を取り込みたい場合は、「すべて転送」を選択します。

4 **取り込み先のフォルダを指定し、[転送開始]をクリックする**

取り込み先のフォルダを新しく作成したい場合は、フォルダを作成したい場所を指定してから[新規作成]をクリックします。

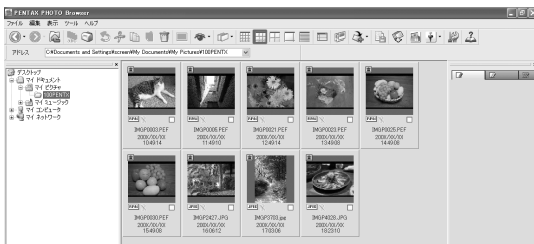
5 **画像ファイルの取り込みが完了したら、[完了]をクリックする**

画像を表示する

パソコンに保存されている画像をプレビューペインまたは主画像表示ウィンドウで表示します。

サムネイルペインからプレビューペインに画像を表示する

1 フォルダツリーで表示する画像ファイルが保存されているフォルダを選択する

サムネイルペインに選択したフォルダ内のサムネイル画像が表示されます。

サムネイル画像のサイズを変更することができます。「表示」メニューの「サムネイル（最小）」「サムネイル（小）」「サムネイル（中）」「サムネイル（大）」を選択します。またはツールバーの▦、▦、田、□ボタンをクリックします。

2 サムネイルペインで画像を選択する

選択した画像がプレビューペインに表示されます。

プレビューペインで右クリックすると、次のようなメニューが表示されます。

前の画像をプレビュー	前の画像を表示します。
次の画像をプレビュー	次の画像を表示します。
自動サイズ	プレビューペインのサイズに従って表示します。
固定サイズ	画像の長辺を320pixels（アスペクト比維持）で表示します。
等倍表示	表示倍率を100％で表示します。

チェック画像ペイン（p.19）からプレビューペインに画像を表示することもできます。

サムネイルペインから主画像表示ウィンドウに画像を表示する

主画像表示ウィンドウを起動するには、次の手順で行います。

1 ブラウズ画面のサムネイルペインで画像を選択し、ツールバーの ボタンをクリックする。

主画像表示ウィンドウが起動し、選択した画像が表示されます。

- サムネイルペインで複数の画像を選択して開くことができます。複数の画像を選択した際に、ひとつの主画像表示ウィンドウですべての画像を開くか、複数の主画像表示ウィンドウで開くかをオプションで設定することができます。（p.42）標準ではひとつのウィンドウで画像が開くようになっています。チェック画像ペインから主画像表示ウィンドウに画像を表示することもできます。（p.33）
- 以下の方法でも、主画像表示ウィンドウを起動することができます。
  －サムネイルペインで画像を選択し、「ファイル」メニュー→「開く」を選択する。
  －サムネイルペインで画像を右クリックし、メニューから「主画像表示」を選択する。（Macintosh版では、control キーを押しながらクリックしてメニューを表示する。）
  －サムネイルペインで画像をダブルクリックする。
  －起動している主画像表示ウィンドウに、デスクトップから画像ファイルをドラッグ＆ドロップする。
  －チェック画像ペインで画像を右クリックし、メニューから「主画像表示」を選択する。（Macintosh版では、control キーを押しながらクリックしてメニューを表示する。）
  －チェック画像ペインで画像をダブルクリックする。

● RAWファイルの表示について

PENTAX PHOTO Browser 3では、RAWファイルを主画像表示ウィンドウに表示する方法として「埋め込みJPEG」と「自動RAW展開」を選択することができます。（p.68）

埋め込みJPEG：RAWファイルに埋め込まれた圧縮データを表示します。すばやく画像を表示することができます。

自動RAW展開：RAW ファイルを展開します。表示するのに時間がかかりますが、美しい画像で表示されます。
展開比率は、「オプション」ダイアログの「主画像ウィンドウ」タブで3段階に切り替えられます。（p.68）

チェック画像ペインに画像を表示する

サムネイルペインに表示されている各画像のサムネイル（サムネイルペインを詳細表示にした場合はリスト表示の左端）には、その画像をチェック画像ペインに登録するためのチェックボックスが用意されています。このチェックボックスをクリックしてチェックマークを表示させた状態を「チェック画像」と呼びます。
チェックマークは、クリックする度に＜チェック1アイコン＞→＜チェック2アイコン＞→＜チェック3アイコン＞の順にチェックグループが切り替わります。また、サムネイルペインで画像を選択し、「編集」メニュー→「選択画像をチェック」からチェックグループを選択することもできます。
チェック画像は、チェック画像ペイン内の各チェックマークに応じたチェックグループのタブに登録されます。異なるフォルダにある画像でも、同じチェックマークを付ければ、同じタブに登録されます。ただし、チェック画像ペイン上では画像が保存されているフォルダごとにサムネイルが色分けされます。なお、色分けは7色までで、8つ以上の異なるフォルダの画像に同じチェックマークを付けた場合は、同じ7色が繰り返し使われます。また、この7色は「ツール」メニュー→「オプション」ダイアログで、自由に選択できます。

チェック画像ペインで右クリック（Macintosh版では、controlキーを押しながらクリック）すると、以下のメニューが表示されます。

項目	説明
主画像表示	主画像表示ウィンドウが開きます。複数の画像を選択して開くことができます。
スライドショウ	チェック画像ペインに表示されている画像をスライドショウで表示します。スライドショウ画面とスライドショウコントロールパネルが開きます。
PENTAX PHOTO Laboratory	PENTAX PHOTO Laboratory 3が起動します。チェック画像ペインでRAWファイルを選択した状態で選択すると、選択した画像をPENTAX PHOTO Laboratory 3で開くことができます。
撮影情報一覧保存	チェック画像ペインで選択した画像の撮影情報一覧を、CSV形式で保存します。
印刷	「印刷」ダイアログが開き、印刷の設定を行うことができます。
画像回転	選択している画像を左90度または右90度に回転します。（p.34）
並べ替え	チェック画像ペインに表示するファイルやフォルダの並び順を選択します。

項目	説明
サムネイル表示	チェック画像をサムネイルで表示します。
詳細表示	チェック画像をリスト表示します。*2
選択画像をチェックアウト*1	チェック画像ペインで選択されている画像に付けられたチェックマークを外します。チェック画像ペインへの登録が解除されます。
すべてをチェックアウト	アクティブなチェックグループ内のすべての画像のチェックマークを外します。チェック画像ペインへの登録が解除されます。
別のフォルダに移動	チェック画像ペインで選択されている画像を別のフォルダに移動します。
別のフォルダにコピー	チェック画像ペインで選択されている画像を別のフォルダにコピーします。
JPEG抽出	チェック画像ペインで選択したPEFファイルや、K10D／K20D／K200D／K-mで撮影したDNGファイルから閲覧用JPEGデータを抽出し、別ファイルとして保存します。
DNG変換	チェック画像ペインで選択したPEFファイルをDNGファイルに変換します。

*1：画像を選択した状態で右クリックして表示されるメニューからのみ選択できます。
*2：「詳細」を選択すると、チェックマークが付けられた各画像が、同じフォルダごとに分類され、リスト表示されます。

サムネイルペインまたはチェック画像ペインで画像を回転する

1 サムネイルペインまたはチェック画像ペインで画像を選択する

2 「ツール」メニューから「画像回転」のオプションを選択する

［データ回転（左90度）］または［データ回転（右90度）］を選択すると、いずれかの方向に回転した画像が上書きまたは新規保存されます。

［表示方向回転（左90度）］または［表示方向回転（右90度）］を選択すると、ブラウズ画面（サムネイルペイン、チェック画像ペイン、プレビューペイン）および主画像表示ウィンドウでの表示がいずれかの方向に回転します（［表示方向回転（左90度）］および［表示方向回転（右90度）］は、「オプション」ダイアログの［ブラウザ機能］タブで［画像方向情報の適用］が［ON］のときに有効になります。また、表示方向情報を持たない画像には適用できません）。

「画像回転」のオプションは、ツールバーまたはサムネイルペインでサムネイルを右クリックして表示されるメニュー、チェック画像ペインで右クリックして表示されるメニューから選択することもできます。

主画像表示ウィンドウについて

● メニューバー

主画像表示ウィンドウの機能の実行や各種設定を行います。

「ファイル」メニュー	
ブラウザ表示	ファイル参照画面を表示します。
開く	「ファイルを開く」ダイアログが開き、ファイルを指定して開くことができます。「新しいウィンドウで開く」にチェックマークを付けてから、ファイルを選択して［開く］ボタンをクリックすると、新しい主画像表示ウィンドウが起動して、選択した画像が表示されます。（p.31）
名前を付けて保存	表示中の画像をJPEG、TIFF（8bitまたは16bit）、BMP、PNGまたはPICT形式で保存できます。（p.45）
ページ設定	選択した画像を印刷する場合のページ情報を設定します。（p.61）
印刷	現在開いている画像を印刷します。（p.57）
プロパティ	画像ファイルの情報を表示します。（p.41）
閉じる	主画像表示ウィンドウを閉じます。
すべての画像を閉じる	すべての主画像表示ウィンドウを閉じます。

「表示」メニュー	
ツールバー	ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
撮影情報	撮影情報の表示／非表示を切り替えます。
前の画像	複数の画像をひとつの主画像表示ウィンドウで表示する場合、または同じフォルダに複数の画像がある場合、前の画像が表示されます。該当する画像がない場合は、選択できません。
次の画像	複数の画像をひとつの主画像表示ウィンドウで表示する場合、または同じフォルダに複数の画像がある場合、次の画像が表示されます。該当する画像がない場合は、選択できません。
同期表示	他の主画像表示ウィンドウと動作を同期させるかどうかを選択します。
スライドショウ	選択あるいはチェックされている画像を順番に表示します。（p.54）
ウィンドウサイズに依存	画像の大きさをウィンドウサイズに合わせます。（p.40）
拡大表示	画像表示エリアに表示された画像の表示倍率を2倍ずつ拡大します。 最大表示倍率は、4倍です。（p.40）
縮小表示	画像表示エリアに表示された画像の表示倍率を1/2倍ずつ縮小します。 最小表示倍率は、1/16倍です。（p.40）
等倍表示	画像表示エリアに表示された画像の表示倍率を等倍にします。（p.40）
左90度回転表示	画像を左に90度回転表示することができます。この操作で画像ファイルは変更されません。
右90度回転表示	画像を右に90度回転表示することができます。この操作で画像ファイルは変更されません。
ウィンドウの整列	複数開いている主画像表示ウィンドウを整列します。

「ツール」メニュー	
元に戻す	直前のファイル操作を取り消します。
トリミング	指定した範囲の画像を取り出し、不要な部分を切り捨てます。
自動画像補正	明るさ、コントラスト、色調などを、自動的に補正します。「強」または「弱」が選択できます。
画像回転	画像を左90度または右90度に回転します。（p.43）
PENTAX PHOTO Laboratory	PENTAX PHOTO Laboratory 3を起動します。主画像表示ウィンドウでRAWファイルを表示している場合は、そのファイルをPENTAX PHOTO Laboratory 3で開くことができます。

「ツール」メニュー	
オプション	PENTAX PHOTO Browser 3 の各種設定を行います。(p.64)

「ヘルプ」メニュー	
目次	PENTAX PHOTO Browser 3 ヘルプの目次を表示します。(Macintosh 版では「PENTAX PHOTO Browser ヘルプ」を選択します。)
キーワード	PENTAX PHOTO Browser 3 ヘルプのキーワード検索を表示します。(Macintosh版ではこのコマンドはありません。)
ポップアップヒント	クリックすると、ポップアップヒントモードに入り、続いてクリックしたアイコンやコマンドのポップアップヒントが表示されます。
バージョン情報	PENTAX PHOTO Browser 3のバージョン情報を表示します。(Macintosh 版では「PENTAX PHOTO Browser」メニューの「PENTAX PHOTO Browserについて」を選択します。)

● **ツールバー**

頻繁に使用する機能が、ツールバーの各ボタンとして用意されています。ツールバーを使うと簡単に実行することができます。
「表示」メニューの「ツールバー」のチェックを外すと非表示になります。

番号	アイコン(ボタン)	内容
1	[ブラウザ表示]	ブラウズ画面を表示します。
2	[開く]	「ファイルを開く」ダイアログが開き、ファイルを指定して開くことができます。「新しいウィンドウで開く」にチェックマークを付けてから、ファイルを選択して[開く]ボタンをクリックすると、新しい主画像表示ウィンドウが起動して、選択した画像が表示されます。

番号	アイコン（ボタン）	内容
3	[名前を付けて保存]	表示中の画像をJPEG、TIFF（8bitまたは16bit）、BMP、PNGまたはPICT形式で保存できます。（p.45）
4	[印刷]	現在開いている画像を印刷します。（p.57）
5	[プロパティ]	選択したファイルの情報を表示します。（p.41）
6	[前の画像]	複数の画像をひとつの主画像表示ウィンドウで表示する場合、または同じフォルダに複数の画像がある場合、前の画像が表示されます。該当する画像がない場合は、クリックできません。
7	[次の画像]	複数の画像をひとつの主画像表示ウィンドウで表示する場合、または同じフォルダに複数の画像がある場合、次の画像が表示されます。該当する画像がない場合は、クリックできません。
8	[同期表示]	他の主画像表示ウィンドウと動作を同期させるかどうかを選択します。
9	[スライドショウ]	選択あるいはチェックされている画像を順番に表示します。（p.54）
10	[ウィンドウサイズに依存]	画像の大きさをウィンドウサイズに合わせます。（p.40）
11	[縮小表示]	画像表示エリアに表示された画像の表示倍率を1/2倍ずつ縮小します。 最小表示倍率は、1/16倍です。（p.40）
12	[拡大表示]	画像表示エリアに表示された画像の表示倍率を2倍ずつ拡大します。 最大表示倍率は、4倍です。（p.40）
13	[等倍表示]	画像表示エリアに表示された画像の表示倍率を等倍にします。（p.40）
14	15.84 % [表示倍率]	現在の表示倍率を表示します。また、表示倍率をリストから選択、または直接倍率を入力して設定することができます。（p.40）

番号	アイコン（ボタン）	内容
15	[左90度回転表示]	画像表示エリアに表示された画像を左90度（反時計回り）回転させます。（p.42）
16	[右90度回転表示]	画像表示エリアに表示された画像を右90度（時計回り）回転させます。（p.42）
17	[元に戻す]	直前のファイル操作を取り消します。
18	[トリミング]	指定した範囲の画像を取り出し、不要な部分を切り捨てます。
19	[自動画像補正]	をクリックして、または を選択すると、明るさ、コントラスト、色調などを、自動的に補正できます。「強」または「弱」が選択できます。
20	[画像回転]	画像を左90度または右90度に回転します。（p.43）
21	[PENTAX PHOTO Laboratory]	PENTAX PHOTO Laboratory 3を起動します。対象となる画像ファイルはPENTAX PHOTO Browserウィンドウで指定します。（p.70）
22	[オプション]	PENTAX PHOTO Browser 3 の設定画面が表示されます。各種設定を行います。（p.64）
23	[ヘルプ（目次）]	PENTAX PHOTO Browser 3ヘルプの目次を表示します。

● 画像表示エリア

PENTAX PHOTO Browserウィンドウのサムネイルペインまたはチェック画像ペインで選択した画像が表示されます。

● 撮影情報ペイン

画像表示エリアに表示されている画像の撮影情報が表示されます。（p.20）

ペイン上部のセル幅を示す線にカーソルを合わせてドラッグすると、セル幅を変更できます。（Macintosh版では任意の位置でドラッグしてセル幅を変更できます。）

ツールバー、撮影情報ペインを非表示にする

主画像表示ウィンドウのツールバー、撮影情報ペインの表示／非表示を設定することができます。

1 主画像表示ウィンドウの「表示」メニューから「ツールバー」、「撮影情報」を選択してチェックマークを外す

ツールバー、撮影情報ペインが非表示になります。

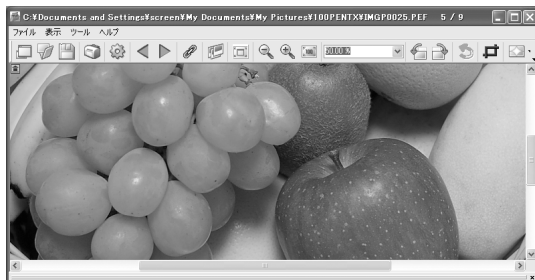
ツールバーや撮影情報ペインを表示するときは、主画像表示ウィンドウの「表示」メニューから「ツールバー」、「撮影情報」を選択してチェックマークを付けます。

表示倍率を変更する

画像表示エリアの画像の表示倍率を変更します。

1 主画像表示ウィンドウの「表示」メニューから「ウィンドウサイズに依存」／「拡大表示」／「縮小表示」／「等倍表示」を選択するまたは、ツールバーの ／ ／ ／ ボタンをクリックする

画像の表示倍率は、1/16～4倍まで変更できます。

拡大表示の場合

縮小表示の場合

ツールバーの 15.84 % に、直接数値で倍率を入力して拡大•縮小表示することもできます。

画像のプロパティを表示する

主画像表示ウィンドウに表示されている画像ファイルの情報を表示します。（p.53）

複数の主画像表示ウィンドウを同期させる

最大4つまでの主画像表示ウィンドウを同期させることができます。同期させることができるのは、表示倍率、表示位置、コマ送りです。

1 主画像表示ウィンドウの「表示」メニューから「同期表示」を選択する または、ツールバーで［同期表示］アイコンをクリックするか、画像表示エリアを右クリックして表示されるメニューから「同期表示」を選択する

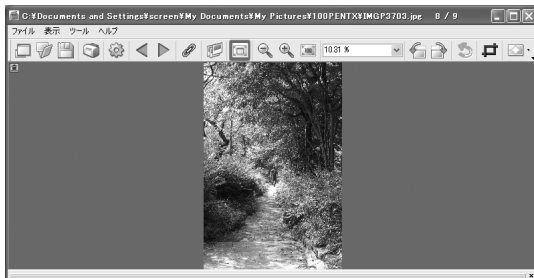
「同期表示」を選択したウィンドウの表示倍率の変更、表示位置の変更、コマ送りが同期します。

- 複数の主画像表示ウィンドウを同期させた状態でも、Altキー（Macintosh版では、optionキー）を押しながら画像をドラッグすると、その画像のみ表示位置を変更することができます。
- 主画像表示ウィンドウを同期させた状態でコマ送りを行う際、複数の主画像表示ウィンドウに同時に同じ画像を表示させたくない場合は、「オプション」ダイアログで設定します。

画像を回転して表示する

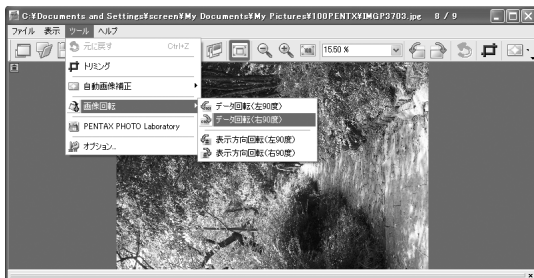
画像の表示を左90度または右90度に回転します。

1 主画像表示ウィンドウの「表示」メニューから「左90度回転表示」／「右90度回転表示」を選択する または、ツールバーの、ボタンをクリックする

画像が回転して表示されます。

回転した状態で保存する場合は、「ツール」メニューの「画像回転」を使います。（p.43）

画像を回転して保存する

表示されている画像のデータを、右または左に90度回転し、保存します。
画像のサイズによっては、回転に時間がかかることがあります。
保存せずに主画像表示ウィンドウを閉じたり、◀ ▶ をクリックすると、警告メッセージが表示されます。

1 主画像表示ウィンドウの「ツール」メニューから「画像回転」の「データ回転（左90度）」または「データ回転（右90度）」を選択する

ツールバーから「データ回転（左90度）」、「データ回転（右90度）」を選択することもできます。（p.39）

2 「保存する場所」、「ファイル名」、「ファイルの種類」を指定して［保存］ボタンをクリックする

画像が回転して保存されます。

- 未加工のJPEG画像ではロスレス回転処理を行うため、回転後の画像を表示する前に「画像データの回転」ダイアログが開きます。
- RAWファイルと加工済みのJPEG画像では、「画像データの回転」ダイアログが表示されません。回転した画像を保存するには、主画像表示ウィンドウの「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を選択するか、またはツールバーの💾ボタンをクリックしてください。

画像をトリミングする

主画像表示ウィンドウに表示された画像から不要な部分を切り取ること（トリミング）ができます。

1 主画像表示ウィンドウの「ツール」メニューから「トリミング」を選択する または、ツールバーで をクリックする

「トリミング」ダイアログが開きます。

2 トリミング範囲を指定する

項目	説明
トリミング領域の縦横比	原画像の縦横比：元の画像の縦横比を維持します。 用紙タイプ指定：印刷用紙に依存します。 任意の縦横比を指定：縦横比を任意に指定します。 縦横比を指定しない：トリミング領域の縦横比を拘束しません。
トリミング領域	センタリング*1：トリミング領域の中心を原画像の中心に合わせます。 左上優先*1　：左上座標を基準に領域設定します。 右下優先*1　：右下座標を基準に領域設定します。 左上座標　：トリミング領域の左上の座標を設定します。 領域サイズ　：トリミング領域のサイズを設定します。 右下座標　：トリミング領域の右下の座標を設定します。 原画素数　：元の画像の画素数を表示します。

*1：トリミング領域を、マウスドラッグではなく数値で指定した場合のみ有効になります。
設定した値を初期値に戻したい場合は、［初期化］ボタンをクリックします。

3 ［OK］ボタンをクリックする

画像を保存する

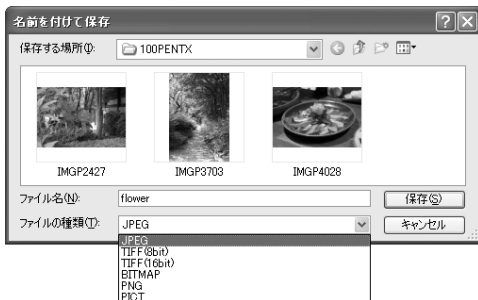
表示されている画像を下記の形式で保存できます。RAWファイルを下記の形式で保存すると、一般の画像処理ソフトで表示できるようになります。

JPEG	：撮影情報付のJPEG画像
TIFF（8bit）	：撮影情報付のTIFF画像
TIFF（16bit）	：撮影情報付の高画質TIFF画像
BITMAP	：撮影情報なしのBMP画像
PNG	：撮影情報なしのPNG画像
PICT	：撮影情報なしのPICT画像

1 主画像表示ウィンドウの「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を選択するか、またはツールバーの ボタンをクリックする

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

RAWファイルが簡易表示または間引き表示されている場合は、フルサイズで展開し直すかどうかの確認ダイアログが表示されます。このダイアログで「いいえ」を選ぶとそのとき表示しているままの画像が保存されます。フルサイズ展開画像より画質は低下します。

2 「保存する場所」、「ファイル名」、「ファイルの種類」を指定して［保存］ボタンをクリックする

画像が保存されます。

画像ファイル／フォルダを管理する

RAWファイルからフルサイズJPEGファイルを抽出する

メモ　プレビュー用JPEGファイルを抽出できるのは、PEFファイルおよびK10D／K20D／K200D／K-mで撮影したDNGファイルです。

1　PENTAX PHOTO Browserウィンドウのサムネイルペインまたはチェック画像ペインで、JPEG抽出したい画像を選択する

2　「ツール」メニューの「JPEG抽出」を選択する
または、JPEG抽出したい画像を右クリックして、「JPEG抽出」を選択する

3　保存先とファイル名を指定する

メモ
- 原画像と同じファイル名で保存したい場合は、「元ファイル名を使用」を選択します。たとえば原画像が“IMGP0001.pef”というファイル名の場合は、“IMGP0001.jpg”というファイル名で保存されます。
- ファイル名を変えて保存したい場合は、「名前を変更」を選択します。この場合は、「ベースファイル名」（ファイル名の接頭辞）と「連番桁数」（ベースファイル名に続く数字の桁数）、「開始番号」（ベースファイル名に続く数字）を指定します。複数の画像を選択して「JPEG抽出」を選択した場合は、各画像に「ベースファイル名」＋「開始番号」から数字が1ずつ増加したファイル名が付けられます。
- Windows 版では、複数の画像を選択した場合のみ、上記の「元ファイル名を使用」と「名前を変更」のオプションを利用できます。

PEFファイルをDNGファイルに変換する

メモ　DNG（Digital Negative）とは、Adobe Systems社が提唱する汎用の公開RAWファイルフォーマットのことです。

1　PENTAX PHOTO Browserウィンドウのサムネイルペインまたはチェック画像ペインで、DNG変換したいPEF画像を選択する

2 「ツール」メニューの「DNG変換」を選択する または、DNG変換したい画像を右クリックして、「DNG変換」を選択する

3 保存先とファイル名を指定する

- 原画像と同じファイル名で保存したい場合は、「元ファイル名を使用」を選択します。たとえば原画像が“IMGP0001.pef”というファイル名の場合は、“IMGP0001.dng”というファイル名で保存されます。
- ファイル名を変えて保存したい場合は、「名前を変更」を選択します。この場合は、「ベースファイル名」（ファイル名の接頭辞）と「連番桁数」（ベースファイル名に続く数字の桁数）、「開始番号」（ベースファイル名に続く数字）を指定します。複数の画像を選択して「DNG変換」を選択した場合は、各画像に「ベースファイル名」＋「開始番号」から数字が1ずつ増加したファイル名が付けられます。
- Windows 版では、複数の画像を選択した場合のみ、上記の「元ファイル名を使用」と「名前を変更」のオプションを利用できます。

画像ファイルを移動／コピーする

1 PENTAX PHOTO Browserウィンドウのサムネイルペインで、移動またはコピーするサムネイル画像を選択する

2 「編集」メニューの「切り取り」／「コピー」を選択する または、ツールバーから／ボタンをクリックする

3 フォルダツリーペインで移動先／コピー先のフォルダを指定する

4 「編集」メニューの「貼り付け」を選択する
または、ツールバーから ボタンをクリックする

画像ファイルが指定したフォルダに移動またはコピーされます。

- サムネイル画像を移動先のフォルダにドラッグ＆ドロップしても移動することができます。
  コピーする場合は、Ctrl キーを押しながらドラッグ&ドロップします。（Macintosh版では、optionキーを押しながらドラッグ&ドロップします。）
- 同様の操作でフォルダを移動またはコピーすることができます。フォルダツリーペインで移動またはコピーするフォルダを指定します。移動先またはコピー先のフォルダ内に指定したフォルダが移動またはコピーされます。

画像ファイル／フォルダを削除する

1 **PENTAX PHOTO Browserウィンドウのサムネイルペインで削除するファイルまたはフォルダを選択する
または、フォルダツリーペインで削除するフォルダを選択する**

2 **「編集」メニューの「削除」を選択する
または、ツールバーから 🗑 ボタンをクリックする**

削除を確認する画面が表示されます。

3 **[はい] ボタンをクリックする**

ファイルまたはフォルダが削除されます。
フォルダを削除した場合、フォルダ内のファイルごと削除されますので注意してください。

ファイル／フォルダの名称を変更する

1 **PENTAX PHOTO Browserウィンドウのサムネイルペインで名称を変更するファイルまたはフォルダを選択する
または、フォルダツリーペインで名称を変更するフォルダを選択する**

2 「ファイル」メニューの「名前の変更」を選択する または、サムネイルペイン／フォルダツリーペインでファイル名／フォルダ名を直接クリックする

ファイル名またはフォルダ名が入力可能な状態になります。

3 ファイル名またはフォルダ名を入力する

画像ファイル名またはフォルダ名が変更されます。

ファイル名を一括変換する

1 PENTAX PHOTO Browserウィンドウのサムネイルペインで名称を変更するサムネイル画像を複数選択する

「編集」メニューの「すべてを選択」を選択すると、サムネイルペインのすべての画像が選択されます。ただし、フォルダやPENTAX PHOTO Browser 3のサポート対象外のファイルの名称は、変更の対象になりません。また、フォルダをまたがっての画像の選択はできません。

2 「ファイル」メニューの「名前の一括変更」を選択する またはツールバーから ボタンをクリックする

「名前の一括変更」ダイアログが表示されます。

3 内容を確認し、必要に応じて入力する

項目	説明
ベースファイル名	ファイル名に付ける名前を指定します。標準で付けられるファイル名は、“IMGP”になります。
連番桁数	ファイル名に付けられる数字の桁を指定します。指定できるのは、1～5までになります。初期設定では、4が指定されます（例：IMGP1234.pef）。対象となるフォルダに指定のベースファイル名を持つファイルがある場合、ファイル名に付けられている最大の番号に変更対象となるファイルの総数を足した数字の桁数が最小の連番桁数として自動的に設定されます。
ベースファイル名を後にする	このチェックボックスにチェックマークを入れると、「ベースファイル名」で指定したファイル名が連番の後に付けられます（例：0123IMGP.pef）。標準ではベースファイル名は先頭に付けられるようになっています。
開始番号	開始番号を指定します。対象となるフォルダに指定したのと同じベースファイル名を持つファイルがある場合、自動的に最大番号の次の番号が最小開始番号として設定されます。指定のベースファイル名を持つファイルがない場合は、1が設定されます。

4 ［OK］ボタンをクリックする

指定した名前に一括変換されます。

フォルダを新規作成する

1 PENTAX PHOTO Browserウィンドウのフォルダツリーペインでフォルダを作成するフォルダを選択する またはサムネイルペインを選択する

2 「ファイル」メニューの「フォルダの新規作成」を選択する

指定したフォルダの下、またはサムネイルペインに「新しいフォルダ」が作成されます。

撮影情報の一覧を保存する

- サムネイルペインから画像情報を保存する場合：
  ペインに表示されているカレントフォルダ内の画像ファイルが保存対象となります。
- チェック画像ペインから画像情報を保存する場合：
  チェック画像ペインでアクティブな状態のタブ内の画像が保存対象となります。複数のフォルダの画像情報を一括してCSV形式でファイルに保存できます。

いずれの場合も、ペイン内で選択した画像の情報だけを保存することもできます。

1 PENTAX PHOTO Browserウィンドウで「ツール」メニューから「撮影情報一覧保存」を選択するか、またはツールバーの ボタンをクリックする

「撮影情報一覧保存」ダイアログが表示されます。

2 ファイル名と保存場所を指定し、［保存］ボタンをクリックする

撮影情報がCSV形式で保存されます。

画像ファイル／フォルダのプロパティを表示する

プロパティダイアログは、ご使用のOSのバージョンによって表示される項目や内容が異なります。プロパティダイアログの設定については、OSのヘルプをご覧ください。

1　PENTAX PHOTO Browserウィンドウのサムネイルペインでプロパティを表示するサムネイル画像を選択する または、フォルダツリーペインでプロパティを表示するフォルダを選択する

2　「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択する

「XXXのプロパティ」（Macintosh版では「XXXの情報」）ダイアログが表示されます。

Windowsの場合

Macintoshの場合

3　内容を確認する

4　［OK］ボタンをクリックする

プロパティダイアログが閉じます。

Macintosh版では ボタンをクリックすると情報ダイアログが閉じます。

スライドショウで連続再生する

スライドショウ表示の設定と操作方法を説明します。

1 PENTAX PHOTO Browserウィンドウで画像またはフォルダを選択する

2 「表示」メニューから「スライドショウ」を選択するか、またはツールバーの ボタンをクリックする

スライドショウ画面とスライドショウのコントロールパネルが開きます。

番号	アイコン（ボタン）	内容
1	［先頭の画像］	先頭の画像に戻ります。スライドショウの実行中に押すと、先頭の画像を表示した後、一時停止状態になります。
2	［巻き戻し］	巻き戻しを行います。スライドショウ実行中に押すと、次の画像を表示した後、一時停止状態になります。
3	［前の画像］	後から前の順で再生を行います。
4	［一時停止］	一時停止します。
5	［再生］	スライドショウを開始します。
6	［早送り］	早送りを行います。スライドショウ実行中に早送りをすると、次の画像を表示した後、一時停止状態になります。
7	［最後の画像］	最後の画像を表示します。スライドショウ実行中でも操作できます。最後の画像を表示した後、一時停止状態になります。
8	［停止］	スライドショウを終了します。

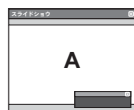
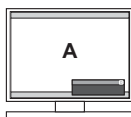
3 ［再生］ボタンを押す

スライドショウが始まります。

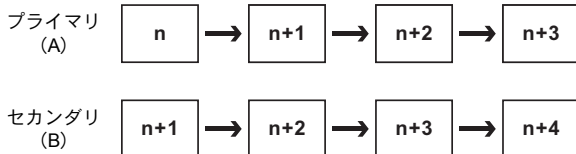
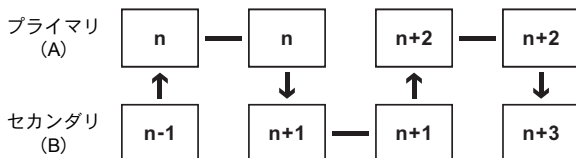
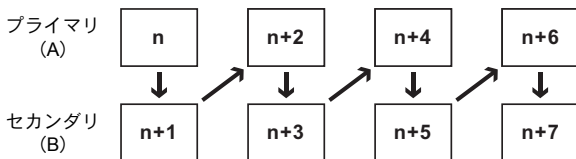
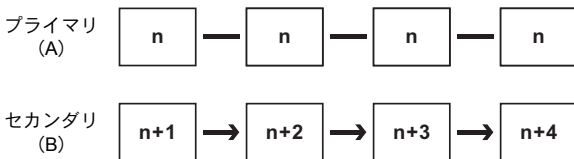
スライドショウの表示設定

スライドショウでは、1つのウィンドウに表示するシングルウィンドウと、2つのウィンドウに表示するデュアルウィンドウを選択することができます。また、シングル全画面表示およびデュアル全画面表示（パソコンが2画面表示に対応している場合のみ）を行うことができます。

スライドショウの表示設定や、スライドショウで表示する撮影情報の設定は、「オプション」ダイアログの「ブラウザ機能」タブで行います。スライドショウで表示する撮影情報は、「スライドショウ時の撮影情報表示」の項目の「ON」「OFF」のラジオボタンを使って選択できます。(p.66)
スライドショウのコマ送りの順番は、現在「表示」メニューの「並べ替え」で選択している設定に従います。

スライドショウには、以下の4つの表示パターンがあります。

● デュアルを選択したときの画像の表示順

PENTAX PHOTO Browser 3のスライドショウでは、スライドショウのパターンでデュアルウィンドウまたはデュアル全画面を選択した場合は、プライマリ画面とセカンダリ画面に表示される画像の表示方法を選択できます。

順送り

交互送り

2枚送り

プライマリ画像固定

画像を印刷する

画像ファイルの印刷には、インデックス印刷とフォト印刷の2種類があります。

インデックス印刷	画像のサムネイルと撮影情報を印刷します。
フォト印刷	画像を高画質に印刷します。1枚の用紙に複数の画像を印刷したり、複数の用紙に分割印刷して大きく印刷したりできます。

インデックス印刷をする

1 PENTAX PHOTO Browserウィンドウのサムネイルペインで印刷する画像を選択する

2 「ファイル」メニューの「印刷」を選択する
または、ツールバーで ボタンをクリックする

「印刷」ダイアログが表示されます。

3 「インデックス印刷」タブを選択する

4 レイアウトとキャプションを設定する

項目	説明
プレビュー	設定した条件でのプレビューを表示します。
レイアウト	レイアウトのパターンを、3種類から選択します。
1ページあたりの画像枚数	リストから1ページに印刷する画像の枚数を指定します。
画像印刷領域枠	それぞれの画像の印刷領域を表示するかどうかを選択します。
キャプション	キャプション設定を行います。どのレイアウトを選択するかによって、表示される内容が異なります。
位置	画像に対するキャプションの位置をリストから選択します。
内容	印刷指定可能情報をリストから指定します。
フォント	フォントをリストから選択します。初期設定はシステム標準フォントです。
サイズ	フォントサイズをリストから選択します。
項目名	キャプションの項目名を印刷するかどうかを選択します。
プリンタ	使用するプリンター名称が表示されます。

- 画像サイズは、余白、枚数、キャプション領域の設定によって自動的に計算されます。
- ［ページ設定］ボタンをクリックすると、用紙の設定ができます。（p.61）
- ［プリンタの設定］ボタンをクリックすると、プリンターの設定ができます。（p.62）

5 ［OK］ボタンをクリックする

印刷が始まります。

フォト印刷をする

1 PENTAX PHOTO Browserウィンドウのサムネイルペインで印刷する画像を選択する

2 「ファイル」メニューの「印刷」を選択する または、ツールバーで ボタンをクリックする

「印刷」ダイアログが表示されます。

3 「フォト印刷」タブを選択する

4 レイアウトとキャプションを設定する

項目	説明
プレビュー	設定した条件でのプレビューを表示します。
レイアウト	レイアウトのパターンを、3種類から選択します。 レイアウト1　：通常印刷 レイアウト2　：割付印刷 レイアウト3　：分割印刷*1 （1枚の画像を複数の用紙で印刷）
1ページの枚数	1ページに印刷する画像の枚数をリストから選択します。
分割数	1ページを分割する数をリストから選択します。
画像の割付方法	印刷領域と画像のサイズが違う場合の処置をリストから選択します。 トリミング無し：画像が印刷領域からはみ出さないようにします。 トリミング　：はみ出た部分を切り捨てて、印刷領域を一杯に使用します。
位置	印刷領域に対する画像の位置をリストから選択します。
縦の間隔／横の間隔	縦と横の間隔をmmまたはinchで設定します。
画像の長辺を印刷領域の長辺に合わせる	印刷領域を有効に利用するための設定です。チェックマークを付けると、領域の形に合わせて画像を必要に応じて90度回転して印刷します。
印刷領域を最大にする	プリンタが印刷可能な最大領域を印刷範囲にする設定です。「レイアウト1」（通常印刷）または「レイアウト3」（分割印刷）を選択した場合に設定できます。
撮影日時印刷	撮影日時の印刷の設定を行います。 位置　：撮影日時を印刷する位置を指定します。 フォント　：リストから選択します。初期設定はシステム標準フォントです。 時刻印刷　：時刻を印刷しない（OFF。初期設定）か印刷する（ON。HH:MM:SS 形式24時制のみ）かを設定します。 区切り　：区切り文字を設定します。 形式　：日付の表示形式を設定します。 文字色　：文字色を指定します。 サイズ　：フォントサイズをリストから選択します。
プリンタ	使用するプリンター名称が表示されます。

*1：「レイアウト 1」（通常印刷）または「レイアウト 3」（分割印刷）を選択すると、「印刷領域を最大にする」チェックボックスが表示されます。「印刷領域を最大にする」にチェックマークを付けると、プリンタの印刷可能な領域いっぱいまで、余白の設定を無視して印刷されます。

- 画像サイズは、余白、間隔、枚数の設定によって自動的に計算されます。
- 日時の印刷の向きは画像データに合わせて調整されます。（Windows版のみ対応）また、印刷位置は画像データに対する相対位置となります。
- ［ページ設定］ボタンをクリックすると、用紙の設定ができます。（p.61）
- ［プリンタの設定］ボタンをクリックすると、プリンターの設定ができます。（p.62）

5 ［OK］ボタンをクリックする

印刷が始まります。

ページ設定をする

印刷時の用紙の余白やヘッダ／フッタの設定、印刷部数などを設定します。

1 PENTAX PHOTO Browserウィンドウで「ファイル」メニューの「ページ設定」を選択する または、「印刷」ダイアログで「ページ設定」ボタンを押す

「ページ設定」ダイアログが表示されます。

2 各項目を設定する

項目		説明
余白	左右上下	初期設定は、A4サイズ以上で上下左右とも25mm（1inch）、それ未満の場合は10mm（0.4inch）となります。
	ヘッダ／フッタ	初期設定は紙の端からそれぞれ15mmです。
印刷部数		印刷する部数を指定します。
ヘッダ／フッタ	配置	ヘッダ／フッタの配置を設定します。印刷しない（初期設定)、左寄せ、中央寄せ、右寄せを指定できます。
	フォント	フォントをリストから選択します。初期設定はシステム標準フォントです。
	文字列	ヘッダ／フッタに印刷したい文字列を入力します。
	［ページ番号挿入］	クリックすると、文字列欄のカーソル位置に「#ページ番号」が入ります。
	［ページ数挿入］	クリックすると、文字列欄のカーソル位置に「#ページ数」が入ります。
	サイズ	フォントサイズをリストから選択します。初期設定は10ポイントです。

3 ［OK］ボタンをクリックする

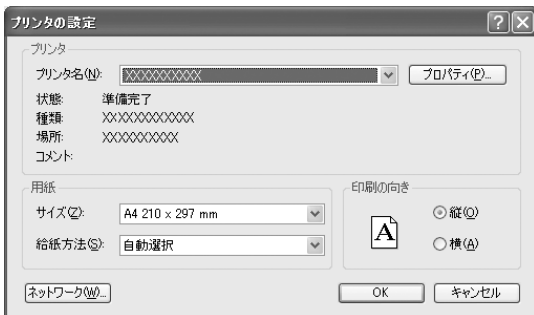
ページ情報が設定されます。

プリンターの設定をする

プリンターの設定を確認し、必要に応じて設定を行います。
プリンターの詳細設定については、ご使用のプリンターの使用説明書をご覧ください。

ここではWindows版のプリンター設定について説明しています。Macintosh版では、OSに従ったプリンター設定画面が表示されます。

1 「印刷」ダイアログまたは「ページ設定」ダイアログで［プリンタの設定］ボタンをクリックする

「プリンタの設定」ダイアログが表示されます。

2 各項目を設定する

項目		説明
プリンタ		使用するプリンターを「プリンタ名」のリストから選択します。 ［ネットワーク］ボタンをクリックすると、ネットワーク上のプリンターを選択できます。 ［プロパティ］ボタンをクリックすると、プリンターの詳細設定ができます。
用紙	サイズ	用紙サイズを選択します。
	給紙方法	給紙方法を選択します。
印刷の向き		印刷の方向を設定します。「縦」または「横」を選択します。

3 ［OK］ボタンをクリックする

プリンター情報が設定されます。

PENTAX PHOTO Browser 3の設定を変更する

PENTAX PHOTO Browser 3の起動／終了時の設定、画像表示サイズの初期値、サムネイルキャプションの表示、RAWファイルの表示形式などPENTAX PHOTO Browser 3に関する設定を行います。

1 PENTAX PHOTO Browserウィンドウで「ツール」メニューから「オプション」を選択する または、ツールバーから ボタンをクリックする

「オプション」ダイアログが表示されたら、設定を変更したい項目のあるタブを選択します。

2 各項目を選択し、［OK］ボタンをクリックする

オプションが設定され、「オプション」ダイアログが閉じます。

［初期化］ボタンをクリックすると、すべてのオプションがインストール時の状態に戻ります。

［初期化］ボタンをクリックすると、現在開いているタブだけではなく、すべてのタブの設定が初期化されますので、注意してください。

「起動/終了」タブの設定

「起動/終了」タブでは、PENTAX PHOTO Browser 3の次の設定を行います。

項目	説明
起動時の作業フォルダ	起動時に開くフォルダを下記から選択します。 前回終了時のフォルダ： 前回 PENTAX PHOTO Browser 3を終了時に開いていたフォルダを開きます。 デスクトップ： デスクトップを開きます。 指定フォルダ： ［参照］ボタンをクリックしてフォルダを指定します。
起動時の作業状態	起動時のPENTAX PHOTO Browser 3の状態を設定します。 前回終了時の状態を復元： PENTAX PHOTO Browser 3を起動したときに、前回終了した際の画面の状態を再現します。 デフォルトの設定： 標準の画面が表示されます。
起動時のスプラッシュの表示	PENTAX PHOTO Browser 3の起動時にスプラッシュ画面を表示するかどうかを設定します。 ON ：スプラッシュ画面を表示します。 OFF ：スプラッシュ画面を表示しません。
終了時の処理	PENTAX PHOTO Browser 3 を終了するときの動作を設定します。 Browserのみ終了： PENTAX PHOTO Laboratory 3 が起動していても、PENTAX PHOTO Browser 3 のみ終了します。 Laboratoryも同時に終了： PENTAX PHOTO Laboratory 3 が起動している場合に、確認ダイアログなしでPENTAX PHOTO Browser 3 とPENTAX PHOTO Laboratory 3を一緒に終了します。

「ブラウザ機能」タブの設定

「ブラウザ機能」タブでは、ブラウズ画面での表示とスライドショウに関する設定を行います。

項目	説明
サムネイルキャプションの日時	サムネイルペインとチェック画像ペインに表示されるサムネイルの日時表示を設定します。 ファイル更新日時： ファイルの更新日時（撮影後に編集加工などを行った日時）を表示します。 Exif更新日時（原画像データの作成日時）： ファイルの作成日時（撮影された日時）を表示します。
画像方向情報の適用	画像ファイルに含まれる画像の方向を示す情報を、ブラウズ画面や主画像表示ウィンドウでの表示に適用するかどうかを設定します。 ON　：適用します。 OFF　：適用しません。また、「画像回転」→「表示方向回転（左90度）」および「表示方向回転（右90度）」を実行しても、サムネイルの表示は変りません（ONにすると変ります）。
画像データ方向表示	ブラウズ画面や主画像表示ウィンドウで、画像データの方向をアイコンで示すかどうかを設定します。 ON　：画像データの方向をアイコンで表示します。 OFF　：画像データの方向を表示しません。
コマ送り時の撮影情報の変化部分表示	主画像表示ウィンドウでコマ送りを行う際に、1コマ前の画像と異なる撮影情報を赤字で表示するかどうかを設定します。 ON　：1 コマ前の画像と異なる撮影情報を赤字で表示します。 OFF　：1 コマ前の画像と異なる撮影情報を赤字で表示しません。
チェック画像ペインのサムネイル枠の色分け	チェック画像ペインに表示されるサムネイルは、その画像ファイルが置かれた場所（パス）ごとに、7色まで色分けして表示されます。その色分けに用いる色を設定します。
スライドショウの表示設定	スライドショウを表示するためのパターンを設定します。 シングルウィンドウ： 1つのウィンドウで表示します。 デュアルウィンドウ： 2つのウィンドウ（プライマリとセカンダリ）で表示します。 シングル全画面： 1つのモニタで全画面表示します。 デュアル全画面： 2つのモニタで全画面表示します。

項目	説明
デュアル表示時のコマ送り方法	2枚の画像を同時に表示する場合に、画像を更新する方法について設定を行います。（p.56） 順送り：順番にコマ送りされます。セカンダリにはプライマリより1つ先の画像が表示されます。 交互送り： コマ送り間隔ごとに、プライマリとセカンダリを交互に使って表示します。開始画像を0番目とすると、プライマリには偶数番目、セカンダリには奇数番目の画像が表示されます。 2枚送り：2枚単位でコマ送りされます。 プライマリ画像固定： プライマリには固定の画像が、セカンダリには順番通りに画像が表示されます。
表示間隔	スライドショウのコマ送り間隔を設定します。 秒数　：コマ送り間隔の秒数を指定します。
ループ表示	繰り返し表示するかどうかを選択します。 OFF　：画像の表示が一巡したら、スライドショウを終了します。 ON　：画像の表示が一巡した後も、ボタンで停止するまでスライドショウを繰り返します。
スライドショウ時の撮影情報表示	スライドショウ実行時に撮影情報を表示するかどうかを設定します。また表示する項目を選択します。 ON　：スライドショウ実行時に撮影情報を表示します。 OFF　：スライドショウ実行時に撮影情報を表示しません。

「主画像ウィンドウ」タブの設定

「主画像ウィンドウ」タブでは、主画像表示ウィンドウの表示に関する設定を行います。

項目	説明
撮影情報ペインの高さ	主画像表示ウィンドウを開いたときに表示される「撮影情報ペイン」の高さを設定します。 最後に指定した行数： 主画像表示ウィンドウを開いたときに、前回の「撮影情報ペイン」の高さを再現します。 自動：自動的に高さが調整されます。 固定：行数を指定することができるようになります。

項目	説明
主画像表示 ウィンドウサイズ	主画像表示ウィンドウを開く際のウィンドウサイズを設定します。 最後に指定した大きさ： 直前に指定した大きさのウィンドウサイズで主画像表示ウィンドウを開きます。 デフォルトの設定： 標準の大きさでウィンドウを開きます。 指定サイズ： 主画像表示ウィンドウの縦横のサイズをピクセル数で指定します。
タイトルバーへの パス表示	主画像表示ウィンドウのタイトルバーにパスを表示するかどうかを設定します。 ON ：タイトルバーにパスを表示します。 OFF：タイトルバーにパスを表示しません。
タイトルバーへの 枚数表示	単一の主画像表示ウィンドウに複数の画像を表示している際、タイトルバーに“表示順／総枚数”を表示するかどうかを設定します。 ON ：タイトルバーに“表示順／総枚数”を表示します。 OFF：タイトルバーに“表示順／総枚数”を表示しません。
複数画像の表示方法	サムネイルペインで複数の画像を選択した場合に、主画像表示ウィンドウに表示する方法を選択します。 単一のウィンドウ： ひとつの主画像表示ウィンドウに画像が表示されます。主画像表示ウィンドウのツールバーで◀ ▶アイコンをクリックすると、画像の表示を切り替えることができます。 個別のウィンドウ： 複数の主画像表示ウィンドウにそれぞれの画像が表示されます。
RAWファイルの 主画像表示	RAWファイルを開く際の表示方法を設定します。 埋め込みJPEG： RAWファイルに埋め込まれた圧縮画像データを表示します。高速に表示できますが、圧縮率が高めになっているので画質が低く、細部の確認には向いていません。 自動RAW展開： RAWファイルを実際に展開します。 （フルオートモード） 展開比率： 自動RAW展開を行う際の展開比率を「1：4」、「1：2」、「1：1」から選択します。速度を重視する場合は「1：4」、画質を重視する場合は「1：1」を選択します。
維持する表示属性	コマ送りする際に維持したい表示属性を選択します。 あてはまるものを複数選択できます。 表示倍率：表示倍率を維持します。 表示位置：表示位置を維持します。 表示方向：表示方向を維持します。

項目	説明
同期表示時のコマ送り	複数の主画像表示ウィンドウを同期表示させていて、コマ送りをしたときに、同期表示されている主画像表示ウィンドウごとにすべての画像を表示するかどうかを設定します。 順送り: すべての画像を表示します。 スキップ: 他の同期ウィンドウで表示中の画像は飛ばします。

「その他」タブの設定

「その他」タブでは、警告ダイアログ、カラーマネージメントに関する設定を行います。

項目	説明
警告ダイアログの表示	警告ダイアログを表示するかどうかを設定します。 ON ：警告ダイアログを表示します（すべての警告ダイアログの「今後、このメッセージを表示しない」のチェックを外します）。 OFF ：警告ダイアログを表示しません（すべての警告ダイアログの「今後、このメッセージを表示しない」をチェックします）。
画像表示時のカラーマネージメント	画像表示時のカラーマネジメント方式を選択します。 通常表示: 画像に設定されたカラーマネジメント方法で表示されます。 マネジメントを行わない: カラーマネジメントを行いません。 擬似広色域表示: AdobeRGBの表現域（広色域）をsRGB領域（狭色域）に圧縮して表示します。sRGBの色域はAdobeRGBに比べて狭いため適正な色再現にはなりませんが、sRGBで表現できず、AdobeRGBでは表現できる色域での色の確認ができます。
印刷時のカラーマネージメント	印刷時に用いるプロファイルを選択します。 プリンタに依存: 印刷時に用いるプロファイルをプリンタの設定に依存します。 指定するカラープロファイルの適用: 印刷時に用いるプロファイルを「プロファイル」ドロップダウンリストから選択します。 マネジメントを行わない: 印刷時にプロファイルを用いず、カラーマネジメントを行いません。
長さの単位	mm ：ダイアログなどで表示される長さの単位をmmに設定します。 inch ：ダイアログなどで表示される長さの単位をinchに設定します。

PENTAX PHOTO Laboratory 3

PENTAX PHOTO Laboratory 3はPEFファイルおよびDNGファイルに対してデータ形式の変換、色調整、画像補正などの展開処理を行うソフトウェアです。この展開処理を行うと、PEFファイルやDNGファイルに対応していない市販の画像閲覧・編集ソフトウェアで画像を表示できるようになります。

ここでは、PENTAX PHOTO Laboratory 3の起動方法と終了方法、PENTAX PHOTO Laboratoryウィンドウの見方とその機能について説明します。

PENTAX PHOTO Laboratory 3で扱えるDNGファイルは、弊社製デジタルカメラで撮影されたものおよびPENTAX PHOTO Browser 3で変換されたもののみです。

PENTAX PHOTO Laboratory 3を起動する

Windowsの場合

1 デスクトップ画面でスタートメニューを選択する

2 「すべてのプログラム」から「PENTAX Digital Camera Utility」の中の「PENTAX PHOTO Laboratory」を選択する

PENTAX PHOTO Laboratory 3が起動し、PENTAX PHOTO Laboratoryウィンドウが表示されます。

● **PENTAX PHOTO Laboratory 3を終了するには**

PENTAX PHOTO Laboratoryウィンドウの「ファイル」メニューから「終了」を選択します。

PENTAX PHOTO Laboratory 3はPENTAX PHOTO Browser 3からも起動することができます。（p.26）

Macintoshの場合

1 ハードディスク上の「アプリケーション」の中の「PENTAX Digital Camera Utility」フォルダをダブルクリックする

2 「PENTAX PHOTO Laboratory」のプログラムアイコンをダブルクリックする

PENTAX PHOTO Laboratory 3が起動し、PENTAX PHOTO Laboratoryウィンドウが表示されます。

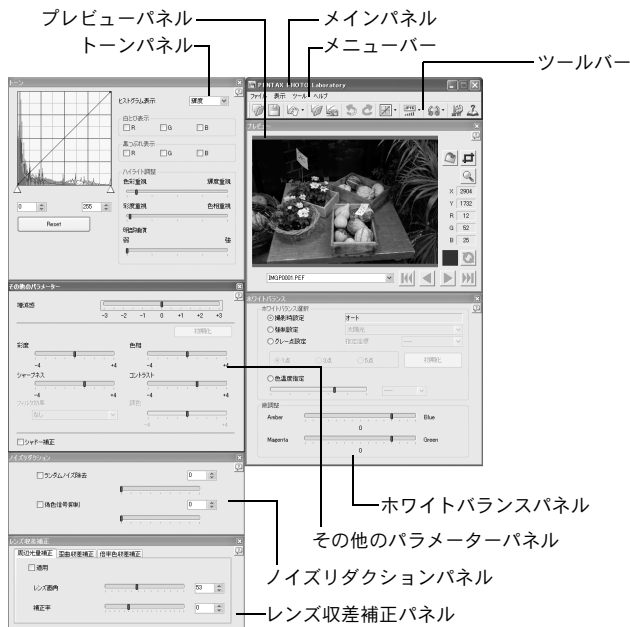
● **PENTAX PHOTO Laboratory 3を終了するには**

デスクトップ上部のメニューバーで、「PENTAX PHOTO Laboratory」メニューの「PENTAX PHOTO Laboratoryの終了」を選択します。

PENTAX PHOTO Laboratory 3はPENTAX PHOTO Browser 3からも起動することができます。（p.26）

PENTAX PHOTO Laboratoryウィンドウについて

PENTAX PHOTO Laboratoryウィンドウの構成、名称、機能について説明します。
PENTAX PHOTO Laboratory 3は7枚のパネルで構成されています。
パネルは独立したウィンドウなので、それぞれ画面上の任意の場所に配置することができます。「表示」メニューの「ウィンドウの整列」で並べ直すこともできます。
またメインパネル以外の6つのパネルは、表示／非表示を設定できます。

プレビューパネル
トーンパネル
メインパネル
メニューバー
ツールバー
ホワイトバランスパネル
その他のパラメーターパネル
ノイズリダクションパネル
レンズ収差補正パネル

- 処理モードとして（フルオートモード）を選択している場合は、ホワイトバランスパネル、トーンパネル、その他のパラメーターパネル、ノイズリダクションパネル、レンズ収差補正パネルは表示されません。（p.76）また、プレビューパネルの ボタンと ボタンは使用できません。
- RAWファイルが選択されていない場合、プレビュー画像は表示されません。（p.77）

● メインパネル

PENTAX PHOTO Laboratory 3の機能の実行や各種設定を行います。
Macintosh版ではツールバーのみのパネルになります。メニューはデスクトップ上部に表示されます。

● プレビューパネル

選択したRAWファイルに対し、それぞれのパネルで行った調整を確認できます。また部分拡大表示も行えます。
調整の結果の表示は、リアルタイム表示と、更新ボタンによる表示のどちらかを選択できます。（p.77）

● ホワイトバランスパネル

ホワイトバランスの選択や色温度の設定を行います。画像の色調が偏っている（例えば、全体的に黄色っぽい、または青っぽい）場合、ここで調整することができます。（p.85）

● トーンパネル

表示されている画像のトーンカーブ、ヒストグラム情報を表示します。（p.86）
トーンカーブを調整することで、画像の階調を調整することができます。

● その他のパラメーターパネル

感度、明暗、色の濃さ、画像輪郭の強調などを調整することができます。（p.87）

● ノイズリダクションパネル

デジタルカメラに特有のランダムノイズや、偽色信号（色モアレ）を除去・抑制することができます。（p.88）

● レンズ収差補正パネル

レンズ収差によって生じる周辺光量、歪曲収差、倍率色収差の補正が行えます。（p.88）

● メニューバー

PENTAX PHOTO Laboratory 3の機能の実行や各種設定を行います。

「ファイル」メニュー	
開く	PENTAX PHOTO Laboratory 3で展開処理を行う画像ファイルを選択します。単独で起動したときのみ有効です。PENTAX PHOTO Browserウィンドウで PENTAX PHOTO Laboratory 3を起動した場合は、使用できません。（p.79）

「ファイル」メニュー	
保存	RAWファイルの展開処理を行い、指定した形式で保存します。指定可能な保存形式はJPEG 5種、TIFF-8、TIFF-16です。保存形式は「ツール」メニューの「保存モード」で指定します。（p.90）
調整値呼び出し	以前に保存したパラメーター設定ファイルを読み込み、各パネルに設定します。（p.92）
調整値保存	現在の各パネルの設定をパラメーター設定ファイルに保存します。（p.91）
印刷	「印刷」ダイアログが開き、印刷の設定を行うことができます。
終了	PENTAX PHOTO Laboratory 3を終了します。（Macintosh版では、「PENTAX PHOTO Laboratory」メニューの「PENTAX PHOTO Laboratoryの終了」を選択します。）

「表示」メニュー	
フルオートモード	RAWファイルごとの、撮影時に設定された条件で展開します。プレビューパネル以外は非表示となります。（p.83）
カスタムモード	ユーザーが設定した処理条件で展開処理を行います。処理条件は、ホワイトバランスパネル、トーンパネル、その他のパラメーターパネル、ノイズリダクションパネル、レンズ収差補正パネルで設定します。（p.84）
先頭の画像	複数の画像が登録されている場合、登録順位が最上位の画像をプレビューします。
前の画像	複数の画像が登録されている場合、登録順位が1つ上位の画像をプレビューします。
次の画像	複数の画像が登録されている場合、登録順位が1つ下位の画像をプレビューします。
最後の画像	複数の画像が登録されている場合、登録順位が最下位の画像をプレビューします。
プレビューの更新	リアルタイムプレビューが無効のとき、現在の設定でプレビューを更新します。
プレビュー	プレビューパネルの表示／非表示を切り替えます。
ホワイトバランス	ホワイトバランスパネルの表示／非表示を切り替えます。
トーン	トーンパネルの表示／非表示を切り替えます。
その他のパラメーター	その他のパラメーターパネルの表示／非表示を切り替えます。

「表示」メニュー	
ノイズリダクション	ノイズリダクションパネルの表示／非表示を切り替えます。
レンズ収差補正	レンズ収差補正パネルの表示／非表示を切り替えます。
ウィンドウの整列	表示中の各パネルを整列します。

「ツール」メニュー	
元に戻す	カスタムモードのとき、変更したパラメーターを直前の状態に戻します。最大5ステップまで戻れます。
やり直し	カスタムモードのとき、「元に戻す」で戻した変更をもう一度実行します。
画像仕上	絵作りのタイプを選択します。カスタムモードのときは、被写体や撮影シーンに応じた画像仕上が選択できます。フルオートモード時は選択できません。（p.83）
保存モード	展開後の画像の保存品質を設定します。圧縮度によって5種類のJPEG形式と、ビット数によって2種類のTIFF形式で保存できます。初期設定は、JPEG（最高画質）です。
画像回転	プレビューパネルの表示を左90度または右90度に回転します。RAWファイルに変更は加えられませんが、展開する際に回転した状態で保存されます。
トリミングと出力画像サイズ	画像のトリミングや出力サイズを変更するダイアログが表示されます。
オプション	PENTAX PHOTO Laboratory 3の各種設定を行います。（p.99）

「ヘルプ」メニュー	
目次	PENTAX PHOTO Laboratory 3 ヘルプの目次を表示します。（Macintosh版では「PENTAX PHOTO Laboratory ヘルプ」を選択します。）
キーワード	PENTAX PHOTO Laboratory 3 ヘルプのキーワード検索を表示します。（Macintosh版ではこのコマンドはありません。）
ポップアップヒント	ポップアップヒントモードに入ります。
バージョン情報	PENTAX PHOTO Laboratory 3のバージョン情報を表示します。（Macintosh版では「PENTAX PHOTO Laboratory」メニューの「PENTAX PHOTO Laboratoryについて」を選択します。）

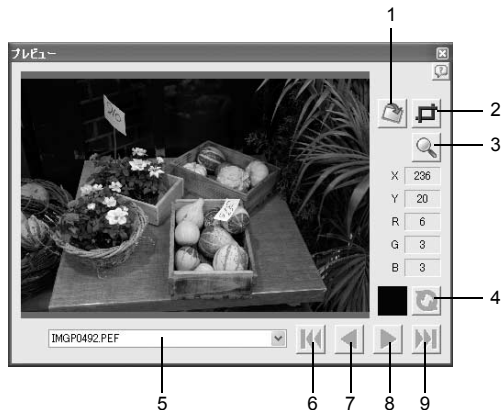
ツールバー

PENTAX PHOTO Laboratory 3の機能の実行や各種設定を行います。

番号	アイコン（ボタン）	内容
1	［開く］	PENTAX PHOTO Laboratory 3で展開処理を行う画像ファイルを選択します。単独で起動したときのみ有効です。PENTAX PHOTO Browserウィンドウで PENTAX PHOTO Laboratory 3を起動した場合は、使用できません。（p.79）
2	［保存］	RAWファイルの展開処理を行い、指定した保存モードと画像サイズで保存します。（p.90）
3	［フルオートモード］	フルオートモードに設定されている場合に表示されます。RAWファイルに設定された処理条件で展開処理を行います。 をクリックするとプルダウンメニューが表示され、と を切り替えられます。
	［カスタムモード］	カスタムモードに設定されているときに表示されます。ユーザーが設定した処理条件で展開処理を行います。処理条件は、ホワイトバランスパネル、トーンパネル、その他のパラメーターパネル、レンズ収差補正パネル、ノイズリダクションパネルで設定します。（p.84）
4	［調整値呼び出し］	カスタムモードのとき、保存した設定値ファイルを呼び出します。（p.92）
5	［調整値保存］	カスタムモードで設定した処理条件を調整値ファイルとして保存します。（p.91）
6	［元に戻す］	カスタムモードのとき、変更したパラメーターを直前の状態に戻します。最大5ステップまで戻れます。
7	［やり直し］	カスタムモードのとき、［元に戻す］で戻した変更をもう1度実行します。

番号	アイコン（ボタン）	内容
8	［画像仕上］	現在の画像仕上が表示されます。カスタムモードの場合、▼をクリックすると、被写体や撮影シーンに応じた画像仕上が選択できます。フルオートモード時は選択できません。（p.83）
9	［保存モード］	現在の保存モードが表示されます。▼をクリックすると、展開処理をした画像ファイルの保存形式を選択できます。（p.90）
10	［画像回転］	プレビューパネルの表示を左90度または右90度に回転します。RAWファイルの展開処理は実行時の向きに準じます。
11	［オプション］	PENTAX PHOTO Laboratory 3の設定を変更します。（p.99）
12	［ヘルプ（目次)］	PENTAX PHOTO Laboratory 3 ヘルプの目次を表示します。

プレビューパネル

RAWファイルをプレビュー表示します。

番号	アイコン（ボタン）	内容
1	[回転/シフト]	基準線に基づいた正確な画像回転や、画像を縦横方向にシフトすることができます。
2	[トリミングと出力画像サイズ]	画像の不要な部分を切り落とすトリミングや、出力する際のサイズを設定することができます。
3	[部分拡大表示]	表示をオンにすると、プレビューエリア上に赤く範囲枠が表示されます。部分拡大表示ウィンドウが表示され、倍率が選べます。
4	[更新]	PENTAX PHOTO Laboratory 3のオプション設定で「プレビュー表示の更新」が「更新ボタン」となっている場合、このボタンを押すと現在の設定でプレビューを更新します。
5	002IMGP.pef	現在プレビューしている画像のファイル名が表示されます。複数の画像が登録されている場合は、リストから表示する画像を選択します。
6	[先頭]	複数の画像が登録されている場合、登録順位が最上位の画像をプレビューします。
7	[戻る]	複数の画像が登録されている場合、登録順位が1つ上位の画像をプレビューします。
8	[進む]	複数の画像が登録されている場合、登録順位が1つ下の画像をプレビューします。
9	[最後尾]	複数の画像が登録されている場合、登録順位が最下位の画像をプレビューします。

展開する画像を選択する

1 PENTAX PHOTO Browser 3でRAWファイルを選択する

2 PENTAX PHOTO Browser 3の「ツール」メニューの「PENTAX PHOTO Laboratory」を選択するか、ボタンをクリックする

PENTAX PHOTO Laboratory 3のプレビューパネルにRAWファイルが表示されます。

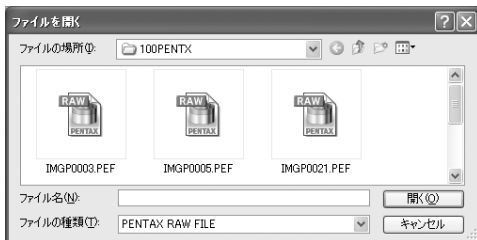
複数の画像を選択しておくと、一度に複数の画像ファイルを読み込むことができます。

その場合は、ツールボタンの、、、ボタンをクリックして目的の画像をプレビュー表示します。

- 複数の画像ファイルを選択するには、サムネイルペインまたはチェック画像ペインでCtrlキーを押しながら選択したいサムネイル画像をクリックします（Macintosh版では、commandキーを押しながら、選択したいサムネイル画像をクリックします）。選択されたサムネイル画像は、青い枠で囲まれた状態になります。
- チェック画像ペインが選択されていて、アクティブなグループの中でサムネイル画像が選択されていない場合（青い枠で囲まれたサムネイル画像がない場合）は、そのグループ内のすべてのRAW画像がPENTAX PHOTO Laboratory 3に読み込まれます。
- PENTAX PHOTO Browser 3で選択した画像をPENTAX PHOTO Laboratory 3で開いて、変更を加えたのちにPENTAX PHOTO Browser 3で別の画像を選択しようとすると、「画像に変更が加えられています。変更した画像を保存しますか？」というダイアログが表示されます。
ここで［キャンセル］をクリックすると、PENTAX PHOTO Laboratory 3での変更を保持したまま、PENTAX PHOTO Browser 3上で他の画像を選択することができます。
また、このダイアログで「今後、このメッセージを表示しない」をチェックしてから［キャンセル］をクリックすると、それ以後、ダイアログでの確認は行われません。常にPENTAX PHOTO Laboratory 3での変更が保持されたまま、PENTAX PHOTO Browser 3上での操作を継続できるようになります。
再びこのダイアログが表示されるようにするには、PENTAX PHOTO Laboratory 3の「オプション」ダイアログ－［警告ダイヤログの表示］でいったん［OFF］を選択して［OK］をクリックしたのち、再度［警告ダイヤログの表示］で［ON］を選択して［OK］をクリックしてください。

PENTAX PHOTO Laboratory 3から開くには

1 PENTAX PHOTO Laboratoryウィンドウのツールバーの ボタンをクリックする

「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

2　表示するRAWファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックする

複数のファイルを選択するには、Windows版ではCtrlキー、Macintosh版ではcommandキーを押しながらクリックします。

PENTAX PHOTO Laboratory 3のプレビューパネルにRAWファイルが表示されます。

画像の回転／シフトを設定するには

1　PENTAX PHOTO Laboratoryウィンドウのプレビューパネルで、ボタンをクリックする

回転／シフトパネルが表示されます。

2　「適用」チェックボックスにチェックマークを付け、回転やシフトの各パラメーターを調整する

「オプション」ダイアログの設定で「プレビュー表示の更新」で「リアルタイム」を選択しているときは、パラメーターで調整した内容がただちにプレビューに反映されます。「プレビュー表示の更新」で「更新ボタン」を選択しているときは、プレビューパネルの［更新］ボタンをクリックするか、「表示」メニューから「プレビューの更新」を選択します。

項目	説明
回転	角度　：回転角度を調整します。 基準線　：プレビュー画像上に引いた直線を垂直または水平にするように回転します。
シフト	垂直方向　：垂直方向にシフトします。 水平方向　：水平方向にシフトします。 レンズ画角：シフト処理のために必要な情報です。初期設定では画像ファイルの情報をもとにほぼ適正にセットされますが、これを変更することで、縦横の変形比率を変えることができます。

トリミングと出力サイズを設定するには

1　「ツール」メニューの「トリミングと出力画像サイズ」を選択する
または、プレビューパネルで ボタンをクリックする

2 トリミングと出力画像サイズパネルで、トリミングと出力画像サイズの設定を行う

設定した値を初期値に戻したい場合は、［初期化］ボタンをクリックします。

項目	説明
トリミング領域の縦横比	原画像の縦横比： 元の画像の縦横比を維持します。 用紙タイプ指定： 印刷用紙に依存します。 任意の縦横比を指定： 縦横比を任意に指定します。 縦横比を指定しない： トリミング領域の縦横比を拘束しません。
トリミング領域	センタリング： トリミング領域の中心を原画像の中心に合わせます。 左上優先：左上座標を基準に領域設定します。 右下優先：右下座標を基準に領域設定します。 左上座標：トリミング領域の左上の座標を設定します。 領域サイズ： トリミング領域のサイズを設定します。 右下座標：トリミング領域の右下の座標を設定します。 原画素数：元の画像の画素数を表示します。
出力画像サイズ	リサイズしない： 画像の出力サイズを変更しない場合に選択します。 画素数指定： 画像を出力する際のサイズを横×縦の画素数で指定する場合に選択します。右側にある「画素数指定」の「W」と「H」に、横と縦の画素数を入力します。 解像度指定： 画像を出力する際のサイズを解像度（dpi）で指定する場合に選択します。「画素数指定」の右側にある「解像度指定」に解像度（dpi）と横×縦のサイズ（mmもしくはinch）を入力します。「トリミングと出力画像サイズ」で「トリミング領域の縦横比」に「用紙タイプの指定」を指定している場合は、出力時の横×縦のサイズとして指定した用紙のサイズを用いることができます。

3 [OK]ボタンをクリックする

画像がトリミングされます。

トリミング領域がプレビューパネルの画像上に残り、ボタンが押し込まれた状態になります。展開後、領域内が指定の画素数で保存されます。

キャンセルする場合は、もう一度ボタンを押してトリミング領域を消します。

RAWファイルを簡単に絵作りする

カスタムモード時には、PENTAX PHOTO Laboratory 3で画像仕上を選択し、撮影意図に適した展開処理を簡単に行うことができます。
K20D／K200Dからの新機能である「カスタムイメージ」に装備された6種類の画像仕上[*1]のほか、5種類のピクチャーモード[*2]および9種類のシーンモード[*3]が用意されています。

*1：「鮮やか」「ナチュラル」「人物」「風景」「雅（MIYABI）」「モノトーン」
*2：「ピクチャー :人物」「ピクチャー :風景」「ピクチャー :マクロ」「ピクチャー :動体」「ピクチャー :夜景人物」
*3：「シーン:夜景」「シーン:サーフ&スノー」「シーン:料理」「シーン:夕景」「シーン:キッズ」「シーン:ペット」「シーン:キャンドルライト」「シーン:美術館」「シーン:テキスト」

フルオートモード時には、撮影時にカメラで選択した画像仕上で展開されます。PENTAX PHOTO Laboratory 3での画像仕上の変更は行えません。

RAWファイルの展開処理条件を設定する

処理条件を1つ1つ設定して、個性的な絵作りができます。

1 「表示」メニューで「カスタムモード」を選択するか、ツールバーのボタンのをクリックし、表示されるドロップダウンリストのカスタムモードをクリックする

メインパネル、プレビューパネル、ホワイトバランスパネル、トーンパネル、その他のパラメーターパネル、レンズ収差補正パネル、ノイズリダクションパネルが表示されます。

- 「表示」メニューで「フルオートモード」を選ぶか、ツールバーのボタンのをクリックし、表示されるドロップダウンリストのフルオートモードを選択すると、ホワイトバランスパネル、トーンパネル、その他のパラメーターパネル、レンズ収差補正パネル、ノイズリダクションパネルが閉じます。撮影時に設定した画像仕上で展開され、PENTAX PHOTO Laboratory 3で設定の変更はできません。
- 画像を複数選択している場合は、選択画像すべてに同じ処理条件が設定されます。画像ごとに処理条件を変えて、後で一括処理がしたい場合には、「キューリスト」を利用してください。（p.91、p.102）

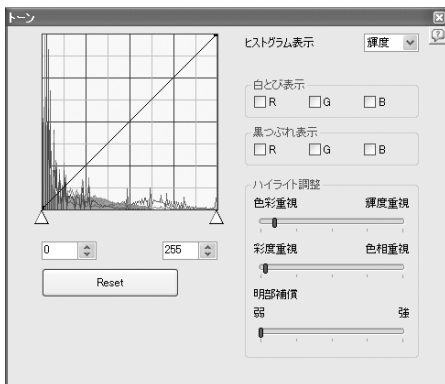
2 各設定パネルで設定する

設定した内容がプレビュー画面に反映されます。反映方法は、オプションの設定によって2種類あります。（p.99）

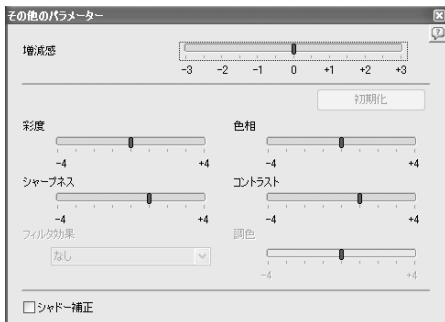
- **設定後リアルタイムですぐに反映する**
- **プレビューパネルの ボタンをクリックすると反映する**

● ホワイトバランスを設定する場合

項目	説明
ホワイトバランス選択	以下の中から選択します。 撮影時設定： カメラで設定されたホワイトバランス種別を適用します。 強制設定：適用するホワイトバランスを「太陽光」「日陰」「曇天」「昼光色蛍光灯」「昼白色蛍光灯」「白色蛍光灯」「白熱球」「ストロボ」から選択します。 グレー点設定： プレビュー画像上でグレーにしたい点を選んで、ポインタで指定することで最適のホワイトバランスを設定することができます。グレー点の設定は1点、3点、5点から選択できます。撮影時にグレー点設定用のグレーパネルを一緒に撮影すると、より正確なホワイトバランスを設定できます。［Reset］ボタンで選択したグレー点を破棄します。 色温度指定： 色温度の指定によるホワイトバランスの設定が行えます。バーをスライドして設定するか、リストから色温度を選択します。2500～10000K（ケルビン）の間で設定できます。
微調整	Amber（黄）– Blue（青）、Magenta（赤）– Green（緑）のスライダーでお好みのホワイトバランスに微調整することができます（各色方向に7ステップまで設定可能です）。それぞれのホワイトバランスモード（撮影時設定、強制設定の各オプション、グレー点設定、色温度指定）において微調整が可能ですので、イメージどおりのホワイトバランスに設定できます。

● トーンカーブ／ヒストグラムを設定する場合

項目	説明
トーンカーブ	トーンカーブを調整することで、濃度やコントラストを細かく調整できます。トーンカーブはポインタで自由に変更できます。上に移動すると明るく、下に移動すると暗くなります。 トーンカーブ上のある位置を固定したい場合は、その地点をクリックすると、黒点が表示されます。黒点をドラッグして移動することもできます。黒点を削除したいときは、右ボタンでクリックします。（Macintosh版では、controlキーを押しながらクリックします。）
ヒストグラム表示	RGB合成時の輝度、R（赤成分）、G（緑成分）、B（青成分）の明度分布を表示します。
白とび表示／ 黒つぶれ表示	「白とび表示」のチェックボックスをすべてチェックすると、白とびした部分をグレーの点滅で表示します。 「黒つぶれ表示」のチェックボックスをすべてチェックすると、黒つぶれ部分を白の点滅で表示します。 色とびは各色の補色の点滅、黒つぶれは各色の点滅で表示します。
［Reset］	設定したトーンカーブを破棄し、直線に戻します。
ハイライト調整	ハイライト範囲を調節します。 色彩と輝度、彩度と色相のどちらを優先するかを調節できるほか、［明部補償］スライダーを使って白とびした部分を補償することができます。

- **増減感／彩度／色相／シャープネス／コントラスト／フィルタ効果／調色／シャドー補正**

  その他のパラメーターパネルで設定します。

項目	説明
増減感	感度を調整します。 ＋方向：画像全体が明るくなります。 －方向：画像全体が暗くなります。
彩度	色の鮮やかさを調整します。 ＋方向：彩度が高くなります。 －方向：彩度が低くなります。
色相	色合いを、色相環の時計回り／反時計回りに、それぞれ4段階ずつ調整します。 ＋方向：色相環の時計回り方向に色合いが変わります。 －方向：色相環の反時計回り方向に色合いが変わります。
シャープネス	輪郭の出方を調整します。 ＋方向：画像の輪郭が強調されます。 －方向：画像の輪郭が柔らかくなります。
コントラスト	明暗の差を調整します。 ＋方向：光と影の強弱が強調されます。 －方向：光と影の強弱が柔らかくなります。
フィルタ効果	画像をモノトーンで展開する際の被写体の色の違いによる濃淡を調整します。 「なし」「グリーン」「イエロー」「オレンジ」「レッド」「マゼンタ」「ブルー」「シアン」「赤外調」から指定できます。

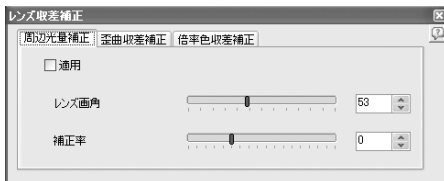
項目	説明
調色	画像をモノトーンで展開する際の色調を、少し青みがかった冷黒調や、少し茶色がかった温黒調に設定します。 ＋方向：温黒調に調整されます。 －方向：冷黒調に調整されます。
シャドー補正	シャドー部分の階調を自動的に補正します。

● ノイズリダクションを設定する場合

ノイズリダクションパネルで設定します。

項目	説明
ランダムノイズ除去	ランダムノイズ（特に暗部で目立ち、ざらついたように見える電気的ノイズ）の除去を設定します。
偽色信号抑制	単板式の撮像素子（CCDやCMOSなど）では、各画素ごとにRGBいずれかの色しか持たないため､はっきりした線や細かい模様などの周辺に、被写体には本来ない色（偽色信号）が生じることがあります。この偽色信号を抑制します。

● レンズ収差補正を設定する場合

レンズ収差補正パネルで設定します。

「周辺光量補正」タブ
画像の周辺部分の光量を補正します。

項目	説明
レンズ画角	撮影時に使用したレンズの画角を設定します。スライダーを左に動かすとレンズの中央部まで周辺光量がリニアに補正されるようになり、右に動かすと、周辺部のみ強く補正されるようになります。
補正率	スライダーで補正率を設定します。補正の範囲は－50～＋120で、スライダーを－方向に動かすと補正範囲がより暗く、＋方向に動かすとより明るくなります。

「歪曲収差補正」タブ
歪曲収差（直線が曲線となって写るレンズの収差）を補正します。

項目	説明
補正バランス	スライダーで画像の中心部と周辺部との歪曲収差補正のかかり方を調節します（スライダーを右に動かすと補正する範囲が広くなります）。
補正率	スライダーで補正率を設定します。

「倍率色収差補正」タブ
画像周辺部で、色の波長の差によって像の倍率が異なり、像の大きさが異なる現象である倍率色収差を補正します。

項目	説明
赤補正率	スライダーで赤色光の像倍率を調節します。
青補正率	スライダーで青色光の像倍率を調節します。

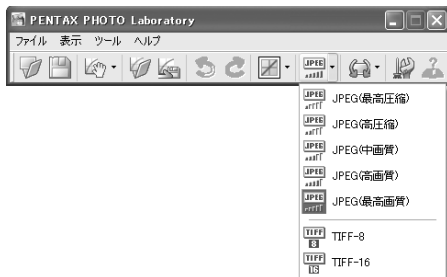
画像ファイルを保存する

フルオート展開またはカスタム展開した画像ファイルを保存します。保存するとき保存形式と画像サイズを指定します。保存形式は、圧縮率の異なる5種類のJPEG形式、TIFF-8形式、TIFF-16形式が指定できます。圧縮率が高くなるほどファイルサイズは小さくなりますが、画質は落ちます。

1 「ツール」メニューの「保存モード」を選択するか、JPEG▾脇の▾をクリックして保存形式を選ぶ

RAWファイルを展開して保存するときのファイルフォーマットと保存品質を選択します。

JPEGは、画像データを圧縮して保存します。最高圧縮、高圧縮、中画質、高画質、最高画質の5段階から選択できます。画質は多少落ちてもファイル容量を少なくしたい場合は最高圧縮か高圧縮を、ファイル容量は大きくても高画質のまま保存したい場合は高画質、最高画質を選択します。

圧縮による画質の低下を避けたいときは、TIFF-8かTIFF-16を選択します。TIFF-16を選択すると容量は大きくなりますが、他の画像編集ソフトで調整するときに、画質の劣化を少なくすることができます。

2 「ファイル」メニューの「保存」を選択するか、ツールバーの ボタンをクリックする

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

複数の画像が登録されているときは、「名前を付けて保存」ダイアログは表示されません。「オプション」で指定した「作業フォルダ」（p.99）に、ファイル名を変えずに保存されます（拡張子は指定した保存形式に応じて自動的に変更されます）。

3 ファイル名と保存する場所を指定し、［保存］ボタンをクリックする

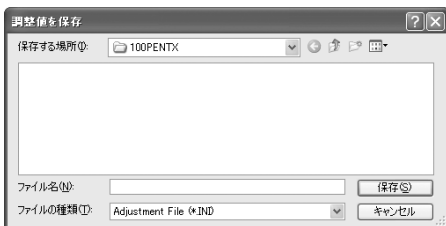
画像ファイルが保存されます。

メモ「オプション」で「キューリストを使用」が指定されているときは、「キューリスト」のダイアログに処理待ちのジョブとして追加されます。（p.102）

画像ファイルの調整値を保存する

現在表示されている調整値の組み合わせをパラメーターファイルとして保存できます。保存した調整値を他のRAWファイルに適用して展開することができます。

1 メインパネル「ファイル」メニューの「調整値保存」をクリックするか、 ボタンをクリックする

「調整値を保存」ダイアログが表示されます。

2 ファイル名と保存する場所を指定し、［保存］ボタンをクリックする

現在表示されている設定が、調整値ファイル(*.INI)として保存されます。

画像ファイルの調整値を呼び出す

1 プレビューパネルにRAWファイルを表示する

2 メインパネル「ファイル」メニューの「調整値呼び出し」をクリックするか、ボタンをクリックする

「調整値ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

3 フォルダとパラメーターファイル名を選び、［開く］ボタンをクリックする

パラメーターファイルに保存されていた設定が、RAWファイルの各パラメーターに反映されます。

印刷する

プレビュー表示しているRAWファイルを印刷することができます。画像ファイルの印刷には、試し刷りと引き伸ばしの2種類があります。

印刷ダイアログ

印刷のレイアウトやキャプションなどの設定は、「印刷」ダイアログで行います。

● 印刷ダイアログの表示

「印刷」ダイアログを表示するには、「ファイル」メニュー→「印刷」を選択します。

● 印刷ダイアログの設定項目

「印刷」ダイアログには、「試し刷り」と「引き伸ばし」という2つの設定タブがあります。

「試し刷り」タブ

試し刷りとは、指定したパラメーターの値を指定した幅で自動的に変えながら印刷し、異なる設定の印刷結果を一度に得ることができる機能です。お使いのプリンタで画像を印刷する場合に、どんなパラメーターの設定が最適かを確認する際に便利です。

表示切替

プレビューの方法を切り替えます。

項目	説明
領域選択	試し刷りに用いる画像領域を選択する画面に切り替えます。
印刷プレビュー	印刷レイアウトのプレビューを表示します。

印刷形式

試し刷りの設定を行います。

項目	説明
領域指定方法	次の3つから、試し刷りに用いる画像領域の指定方法を選択します。 元の画像を等分する: 画像全体を等分し、それぞれにパラメーター変動を割り当てます。画像全体を大きく確認しながら、指定したパラメーターの値の変化を吟味する際に便利です。 画像の一部を繰り返す: 画像の一部分を取り出し、パラメーターを変化させながらタイル印刷します。その画像で最もポイントになる部分に最適な設定を吟味するのに便利です。なおこの項目を選択すると、プレビュー上で繰り返し印刷される領域を選択できます（「表示切替」を「領域選択」に設定している場合）。 画像全体を縮小する: 画像全体を縮小し、パラメーターを変化させながらタイル印刷します。画像全体を見ながらパラメーター変化の効果を確認することができます。
分割方式	次の3つから、印刷領域の分割方法を指定します。 短冊形：横方向のみ領域分割します。変動可能なパラメーターはひとつです。 矩形（1ヶ所）: 縦横とも複数に分割します。2つのパラメーターを変動させることができます。 矩形（3ヶ所）: 縦横とも複数に分割しますが縦は3分割に固定されます。変動させることができるパラメーターはひとつですが、画像の3ヶ所を印刷対象にできます。
分割数	縦横の領域分割数を指定します。分割方式によって指定できる値が異なります。
変動パラメーター1	横方向に変動させるパラメーターを選択します。選択できるパラメーターは、増減感、彩度、色相、シャープネス、コントラスト、フィルタ効果、調色、微調整A-B、微調整M-Gの9種類です（ただし変動パラメーター1と2で同じパラメーターを選択することはできません）。
変動パラメーター1 変化ステップ	横方向に変化させるパラメーターの変化ステップを指定します。変化ステップの幅は、選択した変動パラメーターによって異なります。
変動パラメーター2	縦方向に変動させるパラメーターを選択します。選択できるパラメーターは、変動パラメーター1と同じです（ただし変動パラメーター1と2で同じパラメーターを選択することはできません）。

項目	説明
変動パラメーター2 変化ステップ	縦方向に変化させるパラメーターの変化ステップを指定します。変化ステップの幅は、選択した変動パラメーターによって異なります。

「引き伸ばし」タブ

引き伸ばしとは、現在の設定で画像全体を印刷することを表しています。試し刷りでパラメーターを吟味したのち、「作品としてのプリント」を行う場合などに選択します。

表示切替

プレビューの方法を切り替えます。

項目	説明
全体表示	印刷する画像の全体を表示し、用紙の領域と印刷領域をオーバーラップ表示します。
印刷プレビュー	画像の印刷される部分のみを表示します。

ページ設定

印刷する用紙の種類や印刷時の余白などを設定します。

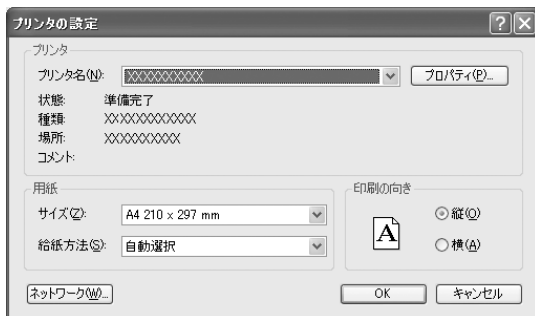
項目	説明
印刷領域	印刷用紙の選択と余白の設定を行います。 定型サイズ: L判、KG判（ハガキサイズ）、2L判、六切（8"×10"）、四切（10"×12"）から定型サイズを選択します。印刷時の画像サイズは、選択した定型サイズに合わせて自動調整されます。 プリンタの用紙に合わせる: プリンタにセットされている用紙から用紙サイズを選択します。「余白（mmもしくはinch）」の設定が行えます。印刷時の画像サイズは、選択した用紙サイズと余白に合わせて自動調整されます。なお、「余白（mmもしくはinch）」の設定を無視し、お使いのプリンタの最大の印刷領域まで印刷時の画像サイズを調整する「印刷領域を最大にする」を選択することもできます。 余白（mmもしくはinch）: 「プリンタの用紙に合わせる」を選択した場合、上下左右の余白をmmもしくはinch単位で指定します。
画像の割付方法	次の2つから、印刷領域の分割方法を指定します。 トリミング無し: 画像全体を印刷します。印刷領域との縦横比の違いによっては、縦と横のどちらかに追加の余白ができます。 トリミング有り: 印刷領域いっぱいに画像を印刷します。印刷領域との縦横比の違いによっては、画像の縦と横のどちらかが切り落とされます。

プリンタの設定ダイアログ

「プリンタの設定」ダイアログでは、プリンタの設定を確認し、必要に応じて設定を行います。プリンタの詳細設定については、ご使用のプリンタに付属の使用説明書をご覧ください。

● プリンタの設定の使い方

「プリンタの設定」ダイアログを起動するには、次の手順で行います。
「印刷」ダイアログで「プリンタの設定」ボタンをクリックします。

「プリンタの設定」ダイアログが表示されます。

● プリンタの設定ダイアログの設定項目

「プリンタの設定」ダイアログには、次のような設定項目があります。

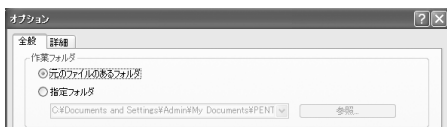
項目	説明
プリンタ名	プリンタの詳細設定を行うには［プロパティ］をクリックします。
用紙	サイズ: 用紙サイズを選択します。 給紙方法: 給紙方法を選択します。
印刷の向き	印刷の方向を縦方向または横方向のいずれかに設定します。［縦］または［横］を選択します。

PENTAX PHOTO Laboratory 3の設定を変更する

1　メインパネル「ツール」メニューの「オプション」を選択するか、ツールバーの ボタンをクリックする

「オプション」ダイアログが表示されます。

2　「全般」タブをクリックする

各項目を必要に応じて設定します。

項目	説明
作業フォルダ	作業フォルダを、2種類から選択します。 元のファイルのあるフォルダ: RAWファイルのあるフォルダで作業します。 指定フォルダ: ［参照］ボタンをクリックすると「フォルダの参照」ダイアログが表示され、フォルダを選択できます。

項目	説明
起動時の作業状態	起動時の作業状態を選択します。 前回終了時の状態を復元： 前回終了時の設定を保持します。モニタの種類や数が前回と異なるために前回の設定を復元できない場合などは、「すべてを整列表示」に切り替わります。 すべてを整列表示： 使用するパネルをすべて整列表示します。表示画像サイズは小（初期設定）、その他の設定は前回終了時の状態で表示します。 デフォルトの設定： すべての状態をインストール時の状態に戻します。
起動時のスプラッシュの表示	PENTAX PHOTO Laboratory 3の起動時にスプラッシュ画面を表示するかどうかを設定します。 ON ：スプラッシュ画面を表示します。 OFF：スプラッシュ画面を表示しません。
パネルの整列	パネルを自動整列する場合の配置方法を設定します。 右寄せ： パネルを右寄せして配置します。 左寄せ： パネルを左寄せして配置します。 プレビュー以外をセカンダリモニタに配置： プレビュー以外のホワイトバランスパネル、トーンパネル、その他のパラメータパネル、レンズ収差補正パネル、ノイズリダクションパネルをセカンダリモニタに配置します。
新規ファイル登録時のパラメーター初期化	PENTAX PHOTO Laboratory 3起動中に、新たに画像ファイルを登録する際、カスタムモード時の各パラメーターを初期化するかどうかを設定します。 ON ：初期化します。 OFF：初期化しません。
警告ダイアログの表示	警告ダイアログを表示するかどうかを設定します。 ON ：警告ダイアログを表示します（すべての警告ダイアログの「今後、このメッセージを表示しない」チェックをOFFにします）。各警告ダイアログで個別に表示する／しないの設定を変えるには、まずこのオプションで「ON」を選択したのち、表示したくない警告ダイアログの「今後、このメッセージを表示しない」をチェックします。 OFF：警告ダイアログを表示しません（すべての警告ダイアログの「以後このダイアログを表示しない」チェックをONにします）。

3 「詳細」タブをクリックする

各項目を必要に応じて設定します。

項目	説明
作業時の画像表示方法	PENTAX PHOTO Laboratory 3で作業中（プレビュー中）の画像の表示方法（カラーマネージメント方法）を、以下の項目から選択できます。 通常表示： 画像に設定されたカラーマネージメント方法で表示します。 擬似広色域表示： sRGB環境において、AdobeRGB環境でしか表示できない色域の階調表現を確認する際に選択します。AdobeRGBの表現域（sRGBに比べると広色域）をsRGB領域（Adobe RGBに比べると狭色域）に圧縮して表示しますので、見た目的には、全体的に彩度が落ちた感じで表示されます。
展開時の色空間	PENTAX PHOTO Laboratory 3から画像を展開する際に使用する色空間を設定します。 RAWファイルの設定： 画像に設定された色空間で展開します。 sRGB：sRGBを使用して展開します。 AdobeRGB： AdobeRGBを使用して展開します。

AdobeRGBに設定して展開した画像をsRGB環境で見ると、sRGBに設定して展開した場合に比べて彩度が低下して見えることがあります。

項目	説明
処理実行方法	設定パネルで設定した展開処理のためのジョブを直ちに実行するか、キューリストに登録して、あとで実行するかを設定します。 直ちに実行: 設定したジョブは直ちに実行されます。処理が済むまで他の操作はできなくなります。 キューリストを使用: 設定したジョブはいったんキューリストに追加されます。それぞれのジョブは処理前、処理中に削除や追加が可能です。
プレビュー表示の更新	リアルタイム: 「カスタムモード」の各設定項目の設定が変更されるたびに処理条件をプレビュー画像に適用するように設定します。 更新ボタン: 「カスタムモード」の各設定項目の設定を変更した後、[更新]ボタンをクリックして処理条件をプレビュー画像に適用するように設定します。
複数画像処理時の保存方法	複数の画像を処理するときの保存方法を「元のファイル名+変換後の拡張子」「連番ファイル名」「一枚ずつ確認」から選択します。 連番ファイル名を選択した場合は、ベースファイル名とその後につける数字の桁数を指定します。
長さの単位	mm ：ダイアログなどで表示される長さの単位をmmに設定します。 inch ：ダイアログなどで表示される長さの単位をinchに設定します。

4 各項目を設定し、[OK]ボタンをクリックする

オプションが設定され、ダイアログが閉じます。

[初期化]ボタンをクリックすると、すべてのオプションがインストール時の状態に戻ります。

[初期化]ボタンをクリックすると、現在開いているタブだけではなく、すべてのタブの設定が初期化されますので、注意してください。

用語集

AdobeRGB

Adobe Systems社が商業印刷原稿作成用に推奨している色空間。sRGBよりも広い色再現域を持ち、印刷での色再現域をほぼカバーできるため、パソコン上での画像編集段階において、印刷でしか再現できない色域情報を失うことがない。なお、対応しないソフトで開くと色が薄く見えてしまうので、注意が必要。

CSV形式

レコード中の各フィールドを、コンマ（,）で区切って列挙したデータフォーマット形式。一般にCSV形式では、文字列データはダブルクォーテーションでくくることが多い。汎用フォーマットの1つとして、CSV形式でのデータ出力、データ入力機能を備えているソフトウェアもある。

DNG RAWファイル

DNG（Digital Negativeの略）は、Adobe Systems社が提唱する汎用のRAWファイルフォーマット。標準仕様のないRAW形式をDNG形式に変換することで、画像の可搬性が向上する。

Exif-JPEG形式

Exif はExchangeable Image File Formatの略。JPEG画像のデータ形式をベースに、サムネイル画像や撮影情報などを埋め込むことを可能にした画像ファイル形式。対応していないソフトでは単なるJPEG画像として処理される。

Exif-TIFF形式

Exif はExchangeable Image File Formatの略。TIFF画像のデータ形式をベースに、サムネイル画像や撮影情報などを埋め込むことを可能にした画像ファイル形式。対応していないソフトでは単なるTIFF画像として処理される。

JPEG

静止画像の圧縮方式。圧縮することにより画質がやや劣化するが、同じ画像サイズでも、TIFFなどよりもファイルサイズを小さくすることができる。

PNG形式
圧縮率が高いのでファイルサイズを小さくできるが、可逆圧縮であるためファイルサイズはJPEGよりも大きくなる。フルカラーに対応しており、再編集しても画質が損なわれない特長を持つ。ただし、古いブラウザ（3.0以前のInternet Explorerや Macintosh版の Internet Explorer 4.5）では表示することができない。また、サムネイル画像や、撮影情報は埋め込めない。

RAWデータ
イメージセンサーからの生出力を記録した画像データ。RAWデータはカメラ内部で画像処理される前の生データなので、RAW以外では撮影前にしておかなければならない設定（ホワイトバランス・コントラスト・彩度・シャープネスなど）を、撮影された後に1コマ1コマ個別に設定できる。またRAWデータはJPEGおよびTIFFの8bitデータに対し、16倍の情報量を持った12bitデータなので、大変豊かな階調表現が可能。パソコンに転送し、付属のソフトウェアを使用することで、JPEGやTIFFなど設定の異なる画像データを作成することができる。

sRGB（standard RGB ）
IEC（International Electrotechnical Commission、国際電気標準会議）が定める色空間の国際規格。一般的なパソコン用モニタの標準値から定義された色空間で、Exifの標準色空間としても使用されている。

TIFF8
画像を保存するファイル形式の一つ。1画像をRGB各色8bitのデータで記録している。画像を圧縮せずに保存するため、ファイルサイズは大きくなるが、保存時の画質の劣化はない。

TIFF16
通常TIFF画像は1画像をRGB各色8bitのデータで記録しているが、これを各色16bitにしたもの。ダイナミックレンジが広がるため、画像処理時の演算精度が向上する。

ロスレス回転
JPEGは、不可逆圧縮方式（圧縮時にデータが劣化する）のため一度圧縮した画像を開き、回転し、また保存しただけで画質が低下するが、ロスレス回転は、このような再圧縮処理を行わずJPEGを回転させる方法。Exifなどの情報はすべて保持される。なお、ロスレス回転はファイルからファイルへの処理になるので、回転後の画像はファイル保存後に表示される。

偽色信号 （にせ・いろしんごう）
はっきりした線や細かい模様などの周辺に生じる、被写体には本来ない色のこと。単板式の撮像素子（CCDやCMOSなど）では、各画素ごとにRGBいずれかの色しか持たないため、発生することがある。

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス　**http://www.pentax.jp/**

［PENTAX イメージング・システム製品に関するお問い合わせ］
お客様相談センター　**ナビダイヤル　0570-001313**
（市内通話料金でご利用いただけます。）

携帯電話、PHS、IP電話の方は、右記の電話番号をご利用ください。　**☎03-3960-3200（代）**

〒174-8639　東京都板橋区前野町2-36-9

営業時間　9：00～18：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

［ショールーム・写真展・修理受付］
ペンタックスフォーラム　**☎03-3348-2941（代）**

〒163-0690　東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB（中地下1階）

営業時間　10：30～18：30

休業日　毎週火曜日、年末年始およびビル点検日

HOYA 株式会社
PENTAX イメージング・システム事業部
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

53444
H01-200809
Printed in Philippines